

2020 年度

尾鷲市水道事業
要覧

目 次

I. 水道事業の沿革	
1. 尾鷲市のあゆみ	1
2. 水道事業の沿革	1
II. 機 構	
1. 機構図	2
2. 職員配置状況	2
3. 事務分掌	2
III. 配水・給水	
1. 事業別取水内訳	3
2. 上水道月別配水量	3
3. 給水状況の推移	4
4. 口径別給水件数	5
5. 口径別使用量	6
6. 使用量別集計	7
7. 年度別件数/使用量/使用料金の推移	8～9
8. 水道料金表	10
9. 水道料金分析表	11
10. 料金徴収方法別件数	11
11. 検針員及び徴収員の人数	11
12. 漏水事故発生件数	12
13. 給水加入状況	13
14. 管路延長	14～16
IV. 財務状況	
1. 損益計算書	17
2. 貸借対照表	18～19
3. 資本的収支	20
4. 費用構成表【年度別】	21
5. 費用構成表	22
6. 企業債の概要	23
V. 経営分析	
1. 資産及び資本構成比率	24
2. 回転率	25
3. 損益に関する比率	26
4. その他比率	27
5. 経営指標一覧表	28～34
VI. 施設概要	
1. 水源施設数	35
2. 各施設ポンプ能力	36
3. 電力使用量	37
4. 配水池・ポンプ井貯水能力一覧表	38
5. 施設住所	39
VII. 設備	
1. 上水道	40～46
2. 簡易水道	47～53

I. 水道事業の沿革

1. 尾鷲市のあゆみ

尾鷲市は、三重県南部東紀州地域の中央に位置し、市域は東西21km、南北19kmで、総面積は192.71km²を有しています。

歴史的には、江戸時代に林業、漁業を中心に繁栄し、江戸や大阪へ回船が行き来することで、昭和初期まで栄えてきました。

戦後、1954年(昭和29年)に尾鷲町、須賀利村、九鬼村、北輪内村、南輪内村が合併して、現在の尾鷲市が誕生し、その後、日本の経済成長とともに、水力発電所建設に始まり、国鉄紀勢本線の全面開通、尾鷲三田火力発電所の建設、国道42号の大改修などのビッグプロジェクトを経て、人口や経済が進展し、本市の基盤を形成しました。

しかし、その後のいわゆる「高度経済成長期」以降においては、尾鷲市から大都市に向かって若い人たちが流出し始め、過疎・高齢化による漁業、林業の後継者不足が進み、継続的に人口が減少しています。これまでも、さまざまな対策を行ってきましたが、過疎・少子高齢化に歯止めをかけることはできず、経済活動の縮小による企業の撤退や商店の閉鎖などが続いています。

尾鷲市には、美味しい魚や尾鷲ヒノキ、海洋深層水、熊野古道など海・山の資源や未開発の自然などの魅力がたくさんあります。この資源や魅力を活用し、市民と行政が力を合わせ、共に知恵を出し合い、また、外部(産学、来訪者など)の協力を得ることで、まちに活気を取り戻し、市民や訪れる人々が幸せや心の豊かさを得られるまちにすることが大切です。

このような中、本市においては、2012年度(平成24年度)より2021年度(平成33年度)を目標年度とした第6次尾鷲市総合計画を策定し、将来の都市像を「共に創り 未来になぐ 誇れるまち おわせ」として、市民一人ひとりが、尾鷲市の資源・魅力に愛着や誇りを持ち、それらを活かしたまちづくりを行っていくことが、新たな尾鷲市の歴史を築いていく原動力となり、尾鷲が尾鷲らしく輝けるまち、ふるさととして誇れるまち、子や孫と共に暮せるまち、住みよいまちを、市民と行政が共に創り、次の世代につなげていくことを目標にまちづくりに取り組んでいます。

2. 水道事業の沿革

尾鷲市には、現在、上水道事業の他に、須賀利簡易水道事業、九鬼簡易水道事業、早田簡易水道事業、三木浦簡易水道事業、三木里簡易水道事業、賀田・古江簡易水道事業、曾根簡易水道事業、梶賀簡易水道事業の8簡易水道事業が存在しています。

上水道事業は、上水道認可を1960年3月(昭和35年)に創設し、その後、国鉄紀勢本線の全線開通及び尾鷲第二水力発電所完成に伴い1961年12月(昭和36年)、事業変更により計画給水人口20,000人、日最大給水量10,000m³/日となり、市勢の発展とともに需要水量も増加してきました。

1978年3月(昭和53年)に第1次拡張事業認可により、馬越簡易水道、大曾根簡易水道、行野簡易水道を上水道に統合し、計画給水人口26,000人、日最大給水量20,000m³/日とし、送配水施設の整備を行ってきました。

その後、人口減少などに伴う水需要の低迷のため、計画の見直しをはかり、1982年3月(昭和57年)に第1次拡張第1次変更事業認可、2003年3月(平成15年)に第1次拡張第2次変更認可、2013年3月(平成25年)に第1次拡張第3次変更事業届出書により、計画給水人口16,500人、日最大給水量14,500m³/日となっております。その後、2015年11月(平成27年)には、上水道の水源となる第2号井が撤去となったため、第1次拡張第4次変更事業届出書により、廃止をいたしました。

今後は南海トラフ巨大地震などの大規模災害の発生が予想されるなか、将来にわたって安全でおいしい水を安定供給するため、水道施設の老朽化や、地震災害対策を計画的に推進するとともに、良質な水道水源確保のための水質保全を積極的に推進する必要があります。

Ⅱ．機構

1．機構図



2．職員配置状況

所属	事務	技師	計
部長	1		1
次長兼係長		1	1
主幹兼係長			
係長	1		1
総務係	2		2
工務係		2	2
送水場係		2	2
計	4	5	9

3．事務分掌

総務係

- (1) 業務の総合調整に関すること。
- (2) 職員の身分取扱に関すること。
- (3) 予算、決算に関すること。
- (4) 出納その他の会計事務に関すること。
- (5) 契約に関すること。
- (6) 資産の管理に関すること。（ただし貯蔵品の管理を除く。）
- (7) 広報宣伝に関すること。
- (8) 文書及び公印の管理に関すること。
- (9) 業務統計に関すること。
- (10) 量水器の点検に関すること。
- (11) 水道料金の調定及び徴収に関すること。
- (12) その他の係の所掌に属しないこと。

工務係

- (1) 水道施設の企画設計及び工事施行に関すること。
- (2) 水道施設の維持管理に関すること。（ただし送水場及び加圧施設を除く。）
- (3) 給水装置に関すること。
- (4) 貯蔵品の管理に関すること。
- (5) その他水道施設に関すること。

送水場係

- (1) 水道用水の浄水、送水並びに供給に関すること。
- (2) 給水記録の整理報告に関すること。
- (3) 送水場及び加圧施設に関すること。
- (4) その他送水施設に関すること。

Ⅲ. 配水・給水

1. 事業別取水内訳

施設名	取水方法	施設数	公称能力 (m ³ /日)	取水量(m ³)	1日平均 取水量(m ³)
上水道	伏流水	2	10,000	1,972,388	5,404
	浅井戸	3	2,580	886,145	2,428
上水道 計		5	12,580	2,858,533	7,832
須賀利簡易水道	浅井戸	2	297	40,435	111
九鬼簡易水道	表流水	1	495	74,240	203
早田簡易水道	表流水	1	81	13,304	36
三木浦簡易水道	表流水	2	326	74,918	205
三木里簡易水道	伏流水	1	643	145,437	398
賀田・古江簡易水道	浅井戸	2	1,000	214,632	588
曾根簡易水道	表流水	1	84	27,285	75
梶賀簡易水道	表流水	1	152	17,058	47
簡易水道 計		11	3,078	607,309	1,664
合計		16	15,658	3,465,842	9,495

2. 上水道月別配水量

年 月 \ 区分	配水量 (m ³)	1日平均 配水量(m ³)	1日最大 配水量(m ³)
平成 29 年度	3,250,993	8,907	10,883
平成 30 年度	3,187,499	8,730	9,562
令和元年度	3,040,161	8,306	9,479
令和 2 年 4 月	242,349	8,678	8,263
令和 2 年 5 月	239,806	7,736	8,877
令和 2 年 6 月	241,864	8,062	8,635
令和 2 年 7 月	233,999	7,548	8,612
令和 2 年 8 月	233,764	7,541	8,351
令和 2 年 9 月	249,581	8,319	8,856
令和 2 年 10 月	228,145	7,360	8,738
令和 2 年 11 月	242,539	8,085	9,095
令和 2 年 12 月	233,184	7,522	8,979
令和 3 年 1 月	248,456	8,015	8,746
令和 3 年 2 月	249,418	8,908	8,987
令和 3 年 3 月	215,428	6,949	8,317
令和 2 年度 計	2,858,533	7,832	9,095
増加量	-181,628	-474	-384
増加率(%)	-5.97	-5.71	-4.05

3. 給水状況の推移

(1)年度別

項目 \ 年度	H27	H28	H29	H30	R01	R02
計画給水人口(人)	26,900	26,900	26,900	26,900	26,900	26,900
行政区域内人口(人)	18,948	18,547	18,167	17,774	17,421	17,053
給水人口(人)	18,928	18,527	18,153	17,760	17,409	17,041
水道普及率(%)	99.8	99.8	99.9	99.9	99.9	99.9
給水戸数(戸)	9,645	9,566	9,473	9,396	9,290	9,188
給水件数(件)	10,721	10,488	10,374	10,374	10,112	9,964
配水量(千m ³ /年)	3,910	4,006	3,866	3,781	3,615	3,466
有収水量(千m ³ /年)	2,780	2,818	2,677	2,578	2,458	2,459
有収率(%)	71.10	70.34	69.25	68.17	68.01	70.94
給水原価(円/m ³)	176.10	162.75	173.75	181.46	180.80	178.58
供給単価(円/m ³)	183.71	184.51	183.22	183.23	182.02	166.43
1日平均配水量(m ³)	10,684	10,976	10,592	10,535	9,876	9,495
1日最大配水量(m ³)	16,110	13,708	13,204	13,176	11,510	11,438

(2)令和2年度事業別

項目 \ 事業	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曽根	梶賀
計画給水人口(人)	16,500	1,000	2,200	270	1,160	1,670	2,500	700	900
行政区域内人口(人)	14,192	192	398	119	499	544	833	133	143
給水人口(人)	14,181	192	398	119	499	543	833	133	143
水道普及率(%)	99.9	100	100	100	100	99.8	100	100	100
給水戸数(戸)	7,390	129	258	84	296	342	510	91	88
給水件数(件)	7,882	176	306	86	319	384	595	96	117
配水量(千m ³ /年)	2,859	41	74	13	75	145	215	27	17
有収水量(千m ³ /年)	2,104	19	52	12	55	83	102	17	15
有収率(%)	73.59	46.34	70.27	92.30	73.33	57.24	47.44	62.96	88.24
給水原価(円/m ³)	167.48	242.12							
供給単価(円/m ³)	167.25	159.88							
1日平均配水量(m ³)	7,832	111	203	36	205	398	588	75	47
1日最大配水量(m ³)	9,095	236	228	48	235	471	954	109	62

4. 口径別給水件数

(1) 年度別

口径 \ 年度	H27	H28	H29	H30	R01	R02
φ 1 3	9,537	9,313	9,204	9,074	8,972	8,820
φ 2 0	893	885	882	871	849	859
φ 2 5	140	140	139	141	142	139
φ 3 0	52	51	49	50	49	48
φ 4 0	55	55	56	55	58	57
φ 5 0	33	33	33	34	33	32
φ 7 5	8	8	8	8	7	8
φ 1 0 0	2	2	2	2	1	1
φ 1 5 0	0	0	0	0	0	0
φ 2 0 0	0	0	0	0	0	0
φ 2 5 0	1	1	1	1	1	0
合 計	10,721	10,488	10,374	10,236	10,112	9,964

(2) 令和2年度事業別

口径 \ 事業	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田 古江	曾根	梶賀
φ 1 3	6,875	166	283	83	301	360	555	87	110
φ 2 0	768	7	16	1	10	19	29	5	4
φ 2 5	114	3	3	1	6	2	6	2	2
φ 3 0	38	0	3	0	1	3	1	1	1
φ 4 0	49	0	1	1	1	2	2	1	0
φ 5 0	30	0	0	0	0	0	2	0	0
φ 7 5	7	0	0	0	0	1	0	0	0
φ 1 0 0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 1 5 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 2 0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 2 5 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	7,882	176	306	86	319	387	595	96	117

5. 口径別使用量

(1) 年度別

[単位:千㎡]

口径 \ 年度	H27	H28	H29	H30	R01	R02
φ 1 3	1,796	1,770	1,739	1,688	1,651	1,668
φ 2 0	236	242	237	230	224	220
φ 2 5	95	95	90	90	95	96
φ 3 0	71	67	66	70	83	63
φ 4 0	130	135	130	127	131	146
φ 5 0	174	172	182	204	173	162
φ 7 5	102	107	103	94	85	82
φ 1 0 0	10	12	8	13	9	2
φ 1 5 0	0	0	0	0	0	0
φ 2 0 0	0	0	0	0	0	0
φ 2 5 0	166	218	122	62	7	20
合計	2,942	2,780	2,818	2,578	2,458	2,459

(2) 令和2年度事業別

[単位:千㎡]

事業 \ 口径	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
φ 1 3	1,382	19	38	13	51	55	87	11	12
φ 2 0	200	0	3	0	2	5	8	1	1
φ 2 5	72	0	4	0	2	14	0	3	1
φ 3 0	57	0	4	0	0	1	0	0	1
φ 4 0	130	0	4	0	0	6	3	3	0
φ 5 0	158	0	0	0	0	0	4	0	0
φ 7 5	80	0	0	0	0	2	0	0	0
φ 1 0 0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 1 5 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 2 0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 2 5 0	20	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,101	19	53	13	55	83	102	18	15

6. 使用量別集計

(1) 上水道

使用量区分	件数	使用量[m ³]
0 m ³ ～10 m ³	3,190	757,182
11 m ³ ～20 m ³	2,305	480,900
21 m ³ ～30 m ³	1,500	238,662
31 m ³ ～50 m ³	668	141,947
51 m ³ ～100 m ³	136	87,747
101 m ³ ～500 m ³	63	184,789
501 m ³ 以上	20	209,738
合計	7,882	2,100,965

(2) 簡易水道

使用量区分	件数	使用量[m ³]
0 m ³ ～10 m ³	1,194	171,854
11 m ³ ～20 m ³	539	85,528
21 m ³ ～30 m ³	229	33,770
31 m ³ ～50 m ³	91	19,085
51 m ³ ～100 m ³	13	13,413
101 m ³ ～500 m ³	12	27,817
501 m ³ 以上	4	6,281
合計	2,082	357,748

(3) 合計

使用量区分	件数	使用量[m ³]
0 m ³ ～10 m ³	4,384	929,036
11 m ³ ～20 m ³	2,844	566,428
21 m ³ ～30 m ³	1,729	272,432
31 m ³ ～50 m ³	759	161,032
51 m ³ ～100 m ³	149	101,160
101 m ³ ～500 m ³	75	212,606
501 m ³ 以上	24	216,019
合計	9,964	2,458,713

7. 年度別件数・使用量・使用料金の推移

(1) 上水道

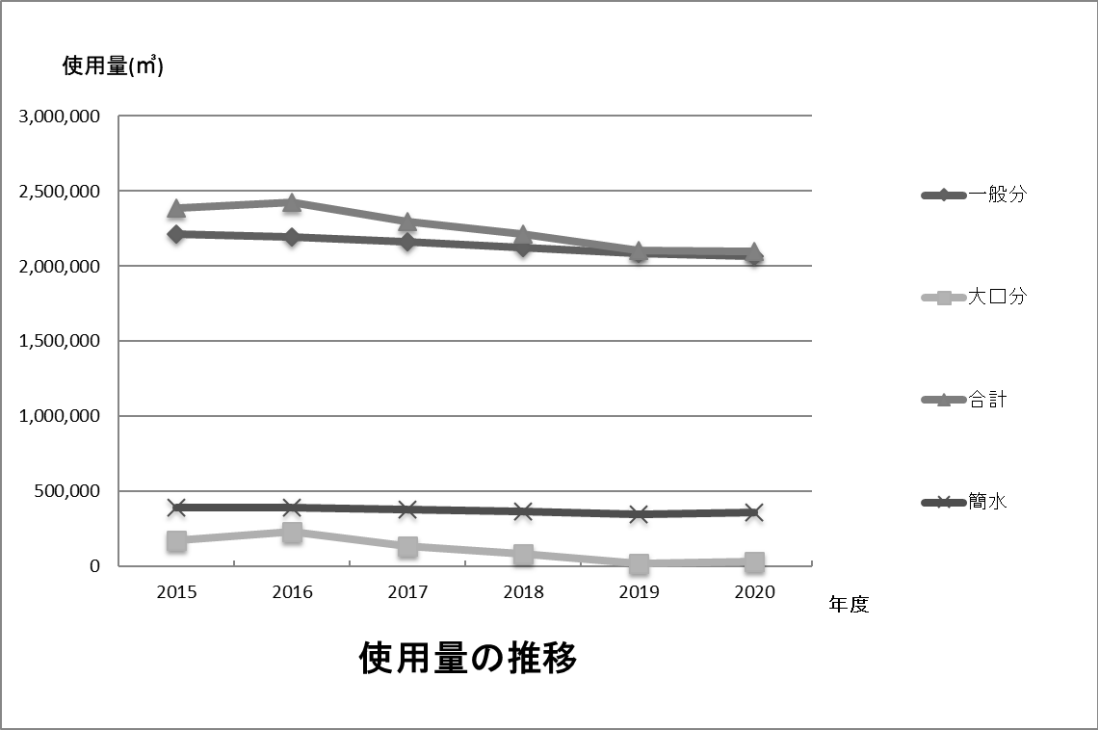
[単位：件・m³・千円]

事業 \ 年度		H27	H28	H29	H30	R01	R02
一般分	件数	99,986	98,706	97,626	96,591	95,938	95,309
	使用量	2,211,012	2,193,356	2,160,436	2,126,676	2,084,800	2,068,883
	使用料金	424,062	421,040	415,125	410,282	405,952	373,176
大口分	件数	60	60	60	61	77	36
	使用量	177,713	231,498	135,224	86,149	22,698	32,082
	使用料金	51,463	64,536	41,168	29,258	12,183	14,010
合計	件数	100,046	98,766	97,686	96,652	96,015	94,345
	使用量	2,388,725	2,424,854	2,295,660	2,212,825	2,107,498	2,100,965
	使用料金	475,525	485,576	456,293	439,450	418,135	387,186

(2) 簡易水道

[単位：件・m³・千円]

事業 \ 年度		H27	H28	H29	H30	R01	R02
須賀利	件数	2,555	2,436	2,357	2,335	2,335	2,172
	使用量	24,580	23,832	21,643	21,036	21,036	19,485
	使用料金	4,706	4,571	4,198	4,170	4,170	3,229
九鬼	件数	4,494	4,338	4,264	4,145	4,145	3,864
	使用量	49,263	47,803	47,094	46,394	46,394	52,192
	使用料金	9,840	9,411	9,275	9,220	9,220	9,833
早田	件数	1,390	1,376	1,280	1,225	1,225	1,111
	使用量	15,832	15,444	13,894	12,354	12,354	12,569
	使用料金	2,964	2,894	2,582	2,391	2,391	2,083
三木浦	件数	4,429	4,307	4,177	4,073	4,073	3,871
	使用量	62,175	62,487	60,645	57,609	57,609	55,273
	使用料金	11,193	10,952	10,616	10,040	10,040	8,580
三木里	件数	5,175	4,998	4,953	4,906	4,906	4,692
	使用量	79,348	79,231	82,330	80,224	80,224	83,125
	使用料金	15,659	15,679	16,444	15,909	15,909	15,542
古賀田	件数	8,838	8,360	8,047	7,812	7,812	7,303
	使用量	123,272	125,950	118,403	112,465	112,465	102,120
	使用料金	24,297	24,844	22,861	21,734	21,734	17,699
曾根	件数	1,452	1,356	1,323	1,288	1,288	1,186
	使用量	19,163	19,224	19,325	18,308	18,308	17,604
	使用料金	3,979	3,974	4,025	3,881	3,881	3,325
梶賀	件数	1,486	1,494	1,496	1,475	1,475	1,411
	使用量	18,090	18,989	18,021	16,531	16,531	15,380
	使用料金	3,509	3,596	3,417	3,210	3,210	2,648
合計	件数	29,819	28,665	27,897	27,259	27,259	25,610
	使用量	391,723	392,960	381,355	364,921	364,921	357,748
	使用料金	76,147	75,921	73,418	70,555	70,555	62,939



8. 水道料金表

(1) 水道加入金及び器具単価表

2019年10月1日改正

口 径	量水器加入金	
13 mm	55,000 円	
20 mm	99,000 円	
25 mm	165,000 円	
30 mm	242,000 円	
40 mm	440,000 円	
50 mm	715,000 円	
75 mm	1,540,000 円	
100 mm以上は市長がその都度定める		

設計審査及び工事検査手数料	設計審査及び工事検査手数料		
	口 径	新 設	変更等工事
	13～20 mm	3,000 円	1,500 円
	25～40 mm	4,500 円	2,300 円
	50 mm	6,000 円	3,000 円

	φ 13mm	φ 20mm
直結止水栓	3,310 円	4,660 円
メーターボックス	3,150 円	4,320 円
	φ 13mm 一式	φ 20mm 一式
加入金	55,000 円	99,000 円
直結止水栓	3,310 円	4,660 円
メーターボックス	3,150 円	4,320 円
設計審査および 工事検査手数料	3,000 円	3,000 円
合計	64,460 円	110,980 円

※上記価格は消費税(8%)込みの価格となります。

(2) 水道料金一覧表 (消費税率10%)

2019年10月1日改正

2019年10月1日改正

用途	口径	基本料金		従量料金（円）（1 m ³ 当たり）					
		水量	料金（円）	10 m ³ 超 ～30 m ³ 以下	30 m ³ 超 ～50 m ³ 以下	50 m ³ 超 ～80 m ³ 以下	80 m ³ 超 ～150 m ³ 以下	150 m ³ 超 ～200 m ³ 以下	200 m ³ 超 ～
一般	13 mm	10 m ³ 以下	1,210.00	187.00	198.00	209.00	236.50	242.00	247.50
	20 mm		1,419.00						
	25 mm		2,673.00						
	30 mm		4,070.00						
	40 mm		8,789.00						
	50 mm		19,327.00						
	75 mm		36,256.00						
	100 mm		70,719.00						
	150 mm		151,404.00						
	200 mm		306,460.00						
	250 mm		602,019.00						
臨時		1 m ³ 以下	1,032.90	1 m ³ 超	442.2				
私設消火栓（演習用） 1回 218.16 円 ただし、1回 5 分間を超えることはできない。									

※【水道料金】＝【基本料金】＋【従量料金】 (1円未満の端数は切り捨て)

9.水道料金分析表

(1) 上水道〔一般分〕

年度	月 1 件当り使用水量	月 1 件当り水道料金	月 1 m ³ 当り水道料金
平成 25 年度	23.83 m ³	4,460.39 円	187.18 円
平成 26 年度	23.06 m ³	4,420.61 円	191.70 円
平成 27 年度	22.11 m ³	4,241.14 円	191.82 円
平成 28 年度	22.22 m ³	4,265.60 円	191.97 円
平成 29 年度	22.13 m ³	4,252.20 円	192.15 円
平成 30 年度	22.89 m ³	4,547.65 円	198.63 円
令和元年度	21.73 m ³	4,231.40 円	194.72 円
令和 02 年度	21.71 m ³	3,915.43 円	180.38 円

(2) 簡易水道

年度	月 1 件当り使用水量	月 1 件当り水道料金	月 1 m ³ 当り水道料金
平成 25 年度	13.93 m ³	2,614.48 円	187.69 円
平成 26 年度	13.31 m ³	2,571.68 円	193.21 円
平成 27 年度	13.14 m ³	2,553.65 円	194.34 円
平成 28 年度	13.71 m ³	2,648.56 円	193.18 円
平成 29 年度	13.67 m ³	2,631.75 円	192.52 円
平成 30 年度	13.39 m ³	2,588.32 円	193.34 円
令和元年度	13.22 m ³	2,592.89 円	196.18 円
令和 02 年度	13.97 m ³	2,457.59 円	175.93 円

10. 料金徴収方法

	上水道		簡易水道		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
口座振替	5,810	73.71%	1,807	86.79%	7,617	76.45%
クレジット	594	7.54%	43	2.06%	637	6.39%
集金	250	3.17%	53	2.55%	303	3.04%
納付書	1,174	14.89%	147	7.06%	1,321	13.26%
その他	54	0.69%	32	1.54%	86	0.86%
合 計	7,882	100.00%	2,082	100.00%	9,964	100.00%

11. 検針員及び徴収員の人数

地区名 業務	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	古江	賀田	曾根・梶賀	合計
検針	1	1	0	0	0	1	0	1	1	5
徴収	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検針兼徴収	2	0	0	1	1	0	1	0	0	5
合計	3	1	0	1	1	1	1	1	1	10

※九鬼地区については、上水担当者が兼務

1 2. 漏水事故発生件数

業務 \ 地区名		上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	古江	賀田	曾根	梶賀	合計
平成 27 年度	本 管	14	0	0	2	3	1	0	1	1	0	22
	取 出	53	6	4	5	4	6	1	9	3	3	94
	送水管									1		1
	施 設											
	合 計	67	6	4	7	7	7	1	10	5	3	117
平成 28 年度	本 管	21	7	0	0	0	1	1	1	1	0	32
	取 出	39	3	1	3	5	6	5	4	1	0	67
	送水管	1										1
	施 設											
	合 計	61	10	1	3	5	7	6	5	2	0	100
平成 29 年度	本 管	27	5	0	0	4	4	1	5	4	1	51
	取 出	181	9	6	8	6	6	10	20	6	6	258
	送水管											
	施 設											
	合 計	208	14	6	8	10	10	11	25	10	7	309
平成 30 年度	本 管	25	4	0	0	1	0	1	1	2	1	35
	取 出	110	7	5	0	4	3	6	14	4	3	156
	送水管											
	施 設											
	合 計	135	11	5	0	5	3	7	15	6	4	191
令和元年度	本 管	23	6	1	0	2	1	0	0	2	0	35
	取 出	111	7	8	1	4	1	6	13	5	2	158
	送水管											
	施 設											
	合 計	134	13	9	1	6	2	6	13	7	2	193
令和 02 年度	本 管	22	6	0	1	1	0	3	6	0	0	39
	取 出	133	8	6	2	9	5	10	24	4	7	208
	送水管											
	施 設											
	合 計	155	14	6	3	10	5	13	30	4	7	247

本管：配水管本管・支管

取出：給水管・止水栓・量水器

1 3. 給水加入状況

(1) 年度別

[単位：件]

年度 口径	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
φ 13	45	48	40	34	45	28	25	23	24
φ 20	3	9	7	3	6	2	2	2	2
φ 25	0	0	0	3	1	0	1	4	1
φ 30	0	1	3	1	2	0	1	0	1
φ 40	0	1	1	2	1	1	0	1	0
φ 50	0	0	0	0	0	0	1	0	0
φ 75	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	48	59	51	43	55	31	30	30	28

(2) 令和02年度事業別

[単位：件]

年度 口径	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田 古江	曾根	梶賀
φ 13	23	0	0	0	1	0	0	0	0
φ 20	2	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 25	1	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 30	0	0	1	0	0	0	0	0	0
φ 40	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 50	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 75	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26	0	1	0	1	0	0	0	0

口径変更

φ 25→φ 40	1	0	0	0	0	0	0	0	0
-----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

1 4. 管路延長

(1) 上水道口径別延長

[単位：m]

年度 口径		H27	H28	H29	H30	R01	R02
導水管	300 mm未満	172	172	172	172	172	172
	300～ 500 mm未満	132	132	132	132	132	132
	500～1,000 mm未満	85	85	85	85	85	85
	計	389	389	389	389	389	389
送水管	300 mm未満	109	139	1,120	1,120	1,120	1,122
	300～ 500 mm未満	1,313	1,283	1,040	1,040	1,040	1,040
	計	1,422	1,422	2,160	2,160	2,160	2,162
配水管	50 mm以下	27,823	27,825	49,525	48,822	48,860	49,049
	75 mm	33,390	33,313	32,837	32,133	32,213	32,218
	100 mm	24,812	24,812	25,828	25,828	25,760	25,748
	125 mm	2,764	2,764	384	385	385	385
	150 mm	13,467	13,542	16,358	16,369	16,369	16,376
	200 mm	3,720	3,720	3,934	3,934	3,934	3,934
	250 mm	126	126	711	711	711	711
	300 mm	10,076	10,076	9,225	9,225	9,225	9,225
	350 mm	0	0	729	729	729	729
	400 mm	771	771	947	947	947	947
	450 mm	0	0	0	0	0	0
	500 mm	312	312	267	267	267	267
	700 mm	13	13	129	129	129	129
	計	117,274	117,274	140,874	139,479	139,529	139,718
合計		119,203	119,085	143,423	142,028	142,078	142,269

【導水管】 水源から浄水場までの配管

【送水管】 浄水場から配水池までの配管

【配水管】 配水池から各家庭までの配管

(2) 上水道管種別延長

[単位：m]

管種 \ 年度		H27	H28	H29	H30	R01	R02
導水管	ダクタイル鋳鉄管	507	389	389	389	389	389
	計	507	389	389	389	389	389
送水管	ダクタイル鋳鉄管	1,084	1,084	1,289	1,289	1,289	1,290
	鋼管	338	338	35	35	35	35
	硬質塩化ビニル管	0	0	350	350	350	350
	ポリエチレン管	0	0	440	440	440	441
	ステンレス管	0	0	46	46	46	46
	計	1,422	1,422	2,160	2,160	2,160	2,162
配水管	本管	鋳鉄管	0	0	1,894	1,894	1,894
		ダクタイル鋳鉄管	16,105	16,105	20,965	20,965	20,955
		鋼管	1,390	1,400	6,969	6,344	6,123
		石綿セメント管	0	0	0	0	0
		硬質塩化ビニル管	13,266	13,012	103,252	101,904	101,738
		ポリエチレン管	2,887	3,131	7,589	8,167	8,803
		ステンレス管	127	127	205	205	205
		その他	0	0	0	0	0
		計	33,775	33,775	140,874	139,479	139,718
	支管	鋳鉄管	0	0	0	0	0
		ダクタイル鋳鉄管	8,211	8,211	0	0	0
		鋼管	3,474	3,474	0	0	0
		石綿セメント管	378	378	0	0	0
		硬質塩化ビニル管	70,520	70,520	0	0	0
		ポリエチレン管	905	905	0	0	0
		ステンレス管	11	11	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		計	83,499	83,499	0	0	0
	計		117,274	117,274	140,874	139,479	139,718
合計		119,085	119,085	143,423	142,028	142,078	142,269

(3) 簡易水道管種別延長

[単位：m]

地区 管種		須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田 古江	曾根	梶賀
導水管	ダクタイル鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	0
	鋼管	0	28	33	0	0	0	400	25
	硬質塩化ビニル管	0	0	0	842	0	0	0	0
	ポリエチレン管	0	0	181	0	0	0	0	605
	計	0	28	214	842	0	0	400	630
送水管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダクタイル鋳鉄管	0	1,113	0	3,187	519	0	0	0
	鋼管	0	125	0	0	0	300	0	0
	その他	0	738	0	0	0	0	0	0
	計	0	1,976	0	3,187	519	300	0	0
配水管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダクタイル鋳鉄管	477	0	1,635	620	2,604	2,128	0	0
	鋼管	0	3,097	0	55	0	3,208	1,591	727
	石綿セメント管	0	0	0	0	0	0	0	0
	硬質塩化ビニル管	1,416	2,782	530	5,188	7,885	10,058	707	641
	コンクリート管	0	0	0	0	0	0	0	0
	鉛管	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポリエチレン管	1,043	28	0	604	271	782	370	92
	ステンレス管	0	139	0	0	0	30	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,936	6,046	2,165	6,467	10,760	16,206	2,668	1,460
合 計		2,936	8,050	2,379	10,496	11,279	16,506	3,068	2,090

(4) 管種別延長合計

[単位：m]

事業 管種	上水道	簡易水道	合計
導水管	389	2,114	2,503
送水管	2,162	5,982	8,144
配水管	139,718	48,708	188,426
合計	142,269	56,804	199,073

Ⅳ. 財務状況

1. 損益計算書

[単位：千円]

科目		平成 30 年度		令和元年度		令和 02 年度	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
収 益	営業収益	475,965	93.21%	451,200	92.94%	411,591	85.23%
	給水収益	472,310	92.49%	447,452	92.16%	409,205	84.74%
	受託工事収益	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	他会計負担金	2,978	0.59%	3,087	0.64%	1,678	0.34%
	その他営業収益	677	0.13%	661	0.14%	708	0.15%
	営業外収益	34,693	6.79%	34,300	7.06%	71,306	14.77%
	受取利息及び配当金	147	0.03%	131	0.03%	138	0.03%
	他会計補助金	2,756	0.54%	2,536	0.52%	40,073	8.30%
	長期前受金戻入	17,649	3.46%	17,547	3.61%	17,831	3.69%
	資本費繰入収益	11,826	2.31%	9,875	2.03%	10,699	2.22%
	雑収益	2,315	0.45%	4,211	0.87%	2,565	0.53%
	合 計	510,658	100.00%	485,500	100.00%	482,897	100.00%
費 用	営業費用	431,655	88.86%	412,558	89.23%	411,817	90.07%
	原水及び浄水費	80,335	16.54%	68,677	14.85%	67,518	14.77%
	配水及び給水費	45,513	9.37%	45,375	9.82%	51,339	11.23%
	受託給水工事費	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	業務費	40,137	8.26%	43,785	9.47%	41,179	9.01%
	総係費	42,248	8.69%	38,464	8.32%	37,365	8.17%
	減価償却費	213,858	44.03%	212,496	45.96%	212,018	46.37%
	資産減耗費	9,206	1.90%	3,406	0.74%	2,067	0.45%
	その他営業費用	358	0.07%	355	0.07%	331	0.07%
	営業外費用	54,102	11.14%	49,813	10.77%	49,813	9.93%
	支払利息	54,102	11.14%	49,813	10.77%	49,813	9.93%
	繰延勘定償却	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	雑支出	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	合 計	485,757	100.00%	462,371	100.00%	457,232	100.00%
経常利益（損失）		24,901		23,129		25,665	
特別利益		0		0		0	
特別損失		293		457		172	
純利益（損失）		24,608		22,672		25,492	
前年度繰越利益剰余金		297,599		322,207		344,879	
その他未処分利益剰余金変動額		44,446		33,960		45,025	
当年度未処分利益剰余金		366,653		378,839		415,397	

2. 貸借対照表

[単位：千円]

科目		平成 30 年度		令和元年度		令和 02 年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
資産 の 部	1. 固定資産	5,250,617	87.29%	5,102,871	87.10%	4,959,268	86.99%
	(1)有形固定資産	5,229,090	86.93%	5,086,524	86.82%	4,948,101	86.80%
	イ. 土地	806,773	13.41%	806,773	13.77%	806,773	14.16%
	ロ. 建物	436,498	7.26%	424,102	7.24%	411,706	7.22%
	ハ. 構築物	3,257,979	54.16%	3,176,758	54.22%	3,097,324	54.33%
	ニ. 機械及び装置	717,805	11.93%	671,857	11.47%	626,254	10.99%
	ホ. 車両運搬具	2,151	0.04%	1,759	0.03%	1,367	0.02%
	ヘ. 工具器具及び備品	7,884	0.13%	5,275	0.09%	3,580	0.06%
	ト. リース資産	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	建設仮勘定	0	0.00%	0	0.00%	1,097	0.02%
	(2)無形固定資産	21,460	0.36%	16,280	0.28%	11,100	0.19%
	イ. 電話加入権	740	0.01%	740	0.01%	740	0.01%
	ロ. ソフトウェア	20,720	0.35%	15,540	0.27%	10,360	0.18%
	(3)投資その他の資産	67	0.00%	67	0.00%	67	0.00%
	イ. 破産更生債権等	500	0.01%	500	0.01%	500	0.01%
	貸倒引当金	-500	-0.01%	-500	-0.01%	-500	-0.01%
	ロ. その他投資	67	0.00%	67	0.00%	67	0.00%
	2. 流動資産	764,539	12.71%	756,035	12.90%	741,350	13.01%
	(1)現金預金	753,581	12.53%	744,330	12.70%	727,857	12.77%
	(2)未収金	9,803	0.16%	10,580	0.18%	12,056	0.21%
	貸倒引当金	-354	-0.01%	-269	0.00%	-267	0.00%
	(3)貯蔵品	1,498	0.02%	1,391	0.02%	1,702	0.03%
	(4)その他流動資産	11	0.00%	3	0.00%	2	0.00%
負債 の 部	3. 繰延勘定	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	(1)開発費	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	資産合計	6,015,156	100.00%	5,858,906	100.00%	5,700,615	100.00%
	4. 固定負債	2,761,036	45.90%	2,584,389	44.11%	2,402,507	42.15%
	(1)企業債	2,653,083	44.11%	2,477,377	42.28%	2,295,484	40.27%
	(2)引当金	107,953	1.79%	107,012	1.83%	107,023	1.88%
	イ. 退職給付引当金	23,867	0.39%	26,184	0.45%	26,195	0.46%
	ロ. 修繕引当金	84,086	1.40%	80,828	1.38%	80,828	1.42%
	5. 流動負債	281,471	4.68%	291,654	4.98%	302,176	5.30%
	(1)企業債	228,048	3.79%	234,505	4.00%	240,194	4.21%
	(2)リース債務	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	(3)未払金	45,511	0.76%	48,334	0.83%	53,839	0.95%
	(4)引当金	6,912	0.11%	6,305	0.11%	6,433	0.11%
	イ. 賞与引当金	5,798	0.09%	5,282	0.09%	5,385	0.09%
	ロ. 法定福利費引当金	1,114	0.02%	1,023	0.02%	1,048	0.02%
	(5)その他流動負債	1,000	0.02%	2,510	0.04%	1,710	0.03%
	6. 繰延収益	367,571	6.11%	355,112	6.06%	342,689	6.01%
	(1)長期前受金	1,003,063	16.68%	1,005,511	17.16%	1,005,569	17.64%
	(2)長期前受金収益化累計額	635,492	10.56%	650,399	11.10%	662,880	11.63%
	負債合計	3,410,078	56.69%	3,231,156	55.15%	3,047,372	53.46%

資本の部	7. 資本金	1,910,648	31.76%	1,955,094	33.37%	1,989,055	34.89%
	8. 剰余金	694,430	11.55%	672,656	11.48%	664,190	11.65%
	(1) 資本剰余金	46,820	0.78%	46,821	0.80%	46,821	0.82%
	イ. 工事負担金	6,596	0.11%	6,596	0.11%	6,596	0.11%
	ロ. 国県補助金	17,962	0.30%	17,962	0.31%	17,962	0.32%
	ハ. 他会計補助金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	二. 受贈財産評価額	22,084	0.37%	22,084	0.38%	22,084	0.39%
	ホ. その他資本剰余金	178	0.00%	179	0.00%	179	0.00%
	(2) 利益剰余金	647,610	10.77%	625,835	10.68%	617,369	10.83%
	イ. 減債積立金	204,521	3.40%	170,560	2.91%	125,536	2.20%
	ロ. 建設改良積立金	76,436	1.27%	76,436	1.30%	76,436	1.34%
	ハ. 当年度末処分利益剰余金	366,653	6.10%	378,839	6.47%	415,397	7.29%
	資本合計	2,605,078	43.31%	2,627,750	44.85%	2,653,245	46.54%
	負債資本合計	6,015,156	100.00%	5,858,906	100.00%	5,700,616	100.00%

3. 資本の収支

[税込、単位：千円]

科目		年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 02 年度	
				金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
収入	出資金			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	他会計出資金			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	給水加入金			3,294	16.79%	2,240	3.50%	2,000	3.14%
	上水道給水加入金			3,056	15.58%	2,090	3.27%	1,730	2.72%
	簡易水道給水加入金			238	1.21%	150	0.23%	270	0.42%
	補助金			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	国県補助金			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	他会計補助金			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	負担金			1,321	6.74%	2,848	4.46%	3,408	5.35%
	他会計負担金			1,321	6.74%	2,848	4.46%	3,408	5.35%
支出	企業債			15,000	76.47%	58,800	92.04%	58,300	91.51%
	上水道企業債			0	0.00%	13,200	20.66%	12,200	19.15%
	簡易水道企業債			15,000	76.47%	45,600	71.38%	46,100	72.36%
	合計			19,615	100.00%	63,888	100.00%	63,708	100.00%
	建設改良費			62,982	23.50%	68,155	23.01%	70,481	23.11%
	固定資産購入費			4,504	1.68%	4,139	1.40%	4,040	1.33%
	機械装置費			3,463	1.29%	3,961	1.34%	4,040	1.33%
	車両運搬具費			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	工具器具備品費			1,041	0.39%	178	0.06%	0	0.00%
	設備購入費			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
支出	リース債務支払額			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	上水道施設整備費			30,729	11.47%	13,842	4.67%	16,411	5.38%
	工事請負費			30,729	11.47%	13,842	4.67%	16,411	5.38%
	委託料			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	補償費			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	簡易水道施設整備費			27,749	10.35%	50,174	16.94%	50,030	16.40%
	工事請負費			27,749	10.35%	47,794	16.14%	47,680	15.63%
	委託料			0	0.00%	2,380	0.80%	2,350	0.77%
	企業債償還金			205,059	76.50%	228,048	76.99%	234,505	76.89%
	上水道企業債償還金			183,830	68.58%	209,705	70.80%	214,656	70.38%
支出	簡易水道企業債償還金			21,229	7.92%	18,343	6.19%	19,849	6.50%
	補助金返還金			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	国庫補助金返還金			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	合計			268,041	100.00%	296,203	100.00%	304,986	100.00%
収入 ー 支出				△ 248,426		△ 232,315		△241,278	
当年度分	損益勘定保留資金			199,559	80.33%	198,355	83.10%	196,254	79.09%
	過年度分			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	損益勘定保留資金			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	当年度分			4,421	1.78%	6,378	2.67%	6,848	2.76%
	消費税資本の収支調整額			4,421	1.78%	6,378	2.67%	6,848	2.76%
	減債積立金			44,446	17.89%	33,960	14.23%	45,025	18.15%
	建設改良積立金			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
当年度分	合計			248,426	100.00%	238,693	100.00%	248,127	100.00%

4. 費用構成表【年度別】

[税抜、単位：千円]

項目 \ 年度	平成 30 年度		令和元年度		令和 02 年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
職員給与費	79,008	15.92%	70,593	15.27%	71,363	15.61%
(1) 基本給	40,168	8.09%	36,333	7.86%	37,291	8.16%
(2) 手当	24,633	4.96%	20,345	4.40%	21,738	4.75%
(3) 賃金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
(4) 退職給付費	1,025	0.21%	2,317	0.50%	11	0.00%
(5) 法定福利費	13,182	2.66%	11,598	2.51%	12,323	2.70%
支払利息	54,102	10.90%	49,813	10.77%	45,415	9.93%
(1) 一時借入金利息	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
(2) 企業債利息	54,102	10.90%	49,813	10.77%	45,415	9.93%
減価償却費	213,858	43.10%	212,496	45.96%	212,018	46.37%
動力費	40,587	8.18%	35,785	7.74%	32,347	7.07%
光熱水費	675	0.14%	627	0.14%	569	0.13%
通信運搬費	5,421	1.09%	4,994	1.08%	4,805	1.05%
修繕費	18,897	3.81%	18,691	4.04%	22,078	4.83%
材料費	4,323	0.87%	5,427	1.17%	6,128	1.34%
薬品費	2,163	0.44%	2,296	0.50%	2,155	0.47%
路面復旧費	1,901	0.38%	742	0.16%	1,731	0.38%
委託料	52,617	10.60%	46,373	10.03%	46,859	10.25%
その他	22,695	4.57%	14,534	3.14%	11,764	2.57%
合計	496,247	100.00%	462,371	100.00%	457,232	100.00%

5. 費用構成表

[税抜、単位：千円]

		原水・浄水	配水・給水	業務	総係	その他	合計
基本給	給料	7,611	11,753	0	17,927	0	37,291
	扶養手当	756	963	0	618	0	2,337
手当	時間外手当	531	765	0	109	0	1,405
	特殊勤務手当	0	0	0	0	0	0
	管理職手当	0	0	0	420	0	420
	通勤手当	194	22	0	44	0	260
	住居手当	0	0	0	0	0	0
	期末勤勉手当	3,327	5,076	0	7,633	0	16,036
	児童手当	240	680	0	360	0	1,280
退職給付費		0	0	0	11	0	11
法定福利費		2,559	3,822	0	5,942	0	12,323
支払利息		0	0	0	0	45,415	45,415
減価償却費		0	0	0	0	212,018	212,018
動力費		27,909	4,438	0	0	0	32,347
光熱水費		304	265	0	0	0	569
通信運搬費		3,256	0	1,255	294	0	4,805
修繕費		5,350	11,168	5,560	0	0	22,078
材料費		0	6,128	0	0	0	6,128
薬品費		2,155	0	0	0	0	2,155
路面復旧費		0	1,731	0	0	0	1,731
委託料		10,837	3,810	31,667	545	0	46,859
その他	旅費	0	0	0	0	0	0
	被服費	0	0	0	91	0	91
	備消耗品費	259	110	475	254	0	1,098
	燃料費	254	191	19	39	0	503
	印刷製本費	0	0	129	0	0	129
	手数料	1,713	211	2,044	195	0	4,163
	賃借料	0	3	0	2,029	0	2,032
	広告料	0	0	0	0	0	0
	保険料	221	203	21	110	0	555
	公課費	42	0	8	0	0	50
	負担金	0	0	0	594	0	594
	材料売却原価	0	0	0	0	331	331
	研修費	0	0	0	0	0	0
	報酬	0	0	0	0	0	0
	貸倒引当金繰入額	0	0	0	151	0	151
	固定資産除却費	0	0	0	0	2,067	2,067
	固定資産撤去費	0	0	0	0	0	0
	雑支出	0	0	0	0	0	0
合計		67,518	51,339	41,178	37,366	259,831	457,232

6. 企業債の概要

(1) 上水道

[単位：円]

借入先	件数	発行総額	構成比	未償還残高	構成比
財務省資金運用部	16	1,932,700,000	46.75%	889,152,305	41.05%
公営企業金融公庫	26	2,201,700,000	53.25%	1,276,907,372	58.95%
合計	42	4,134,400,000	100.00%	2,166,059,677	100.00%

(2) 簡易水道

[単位：円]

借入先	件数	発行総額	構成比	未償還残高	構成比
財務省資金運用部	14	188,300,000	34.40%	102,973,511	27.86%
公営企業金融公庫	22	359,100,000	65.60%	266,644,187	73.14%
合計	36	547,400,000	100.00%	369,617,698	100.00%

(3) 合計

[単位：円]

借入先	件数	発行総額	構成比	未償還残高	構成比
財務省資金運用部	30	2,121,000,000	45.30%	992,125,816	39.13%
公営企業金融公庫	48	2,560,800,000	54.70%	1,543,551,559	60.87%
合計	78	4,681,800,000	100.00%	2,535,677,375	100.00%

V. 経営分析

1. 資産及び資本構成比率

項目	算式	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	備考
固定資産 構成比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産}+\text{流動資産}+\text{繰延勘定}} \times 100$	87.30	87.29	87.10	$\frac{4,959,267}{4,959,267+741,348+0} \times 100 = 87.00$	総資産における固定資産の割合。固定資産の増大は、固定費の増加や資産の固定化をもたらすため、比率は低い方が望ましい。
固定負債 構成比率[%]	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	47.98	45.90	44.11	$\frac{2,402,507}{5,700,615} \times 100 = 42.14$	総資本に対する長期負債の割合を表し、経営の長期的安全性を測る指標で、比率は低い方が望ましい。
自己資本 構成比率[%]	$\frac{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	47.79	49.42	50.91	$\frac{1,989,055+664,188+0+342,689}{5,700,615} \times 100 = 52.55$	総資本に対する自己資本の割合を表す指標で、比率の高い方が経営の安全性は高いと言える。
固定資産対 長期資本 比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{固定負債}+\text{繰延収益}} \times 100$	91.16	91.57	91.66	$\frac{4,959,267}{1,989,055+664,188+0+2,402,507+342,689} \times 100 = 91.86$	固定資産の調達、自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきであるため、比率は100以下であることが必要。
固定比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}} \times 100$	182.67	176.63	171.07	$\frac{4,959,267}{1,989,055+664,188+0+342,689} \times 100 = 165.53$	固定資産が自己資本でどの程度賄われているかを示す指標で、比率が低いほど良く、高いと借入金での資金調達を示し財政的不安定を意味する。
流動比率[%]	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	300.26	271.62	259.22	$\frac{741,348}{302,176} \times 100 = 245.34$	短期債務に対する支払い能力を示す指標。比率は100以上必要で、資金量を示すことから高いほど良い。
酸性試験 比率[%]	$\frac{\text{現金預金}+(\text{未収金}-\text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	299.70	271.09	258.74	$\frac{727,856+(12,056-268)}{302,176} \times 100 = 244.77$	流動資産の内現金預金及び現金化されるものによる支払い能力を見る。比率は100以上が適当。
現金比率[%]	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	295.86	267.73	255.21	$\frac{727,856}{302,176} \times 100 = 240.87$	支払い能力を表す指標。比率は100以上が望ましい。

2. 回転率

項目	算式	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	備考
自己資本 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本}+\text{期末自己資本})\times 1/2}$	0.19	0.18	0.17	$\frac{412,871-0}{(2,627,750+2,653,243)\times 1/2} = 0.16$	投下した自己資本に対し、どれだけの営業収益が生じているか、すなわち自己資本の活動率を示す。
固定資産 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産})\times 1/2}$	0.09	0.09	0.09	$\frac{412,871-0}{(5,102,871+4,959,267)\times 1/2} = 0.08$	固定資産の利用度を示す数値で、高い値ほど固定資産が十分に活用されていることを示す。
流動資産 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産}+\text{期末流動資産})\times 1/2}$	0.62	0.62	0.59	$\frac{412,871-0}{(756,035+741,348)\times 1/2} = 0.55$	一般的には高い値ほど良好であるが、流動資産の過少から高くなるものには、注意が必要である。
未収金 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金}+\text{期末未収金})\times 1/2}$	48.84	46.90	46.90	$\frac{412,871-0}{(10,080+12,056)\times 1/2} = 37.30$	未収金の回収速度を示すもので、高い値ほど未収金が未回収のまま残留する期間が短いことを示している。
減価償却率 [%]	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産}+\text{無形固定資産}-\text{土地}-\text{建設仮勘定}+\text{当年度減価償却費}} \times 100$	4.35	4.59	4.71	$\frac{212,018}{4,948,101+11,100-806,773-0+212,018} \times 100 = 4.86$	減価償却費が適当か否か及び統一的な償却方法がとられているか否かを示す比率で年度により極端に変動していれば検討を要する。

(注) 自己資本＝自己資本金＋剰余金 (※ただし、2014年度に限り、期首とは会計基準の見直しに伴う移行仕訳したもの)

3. 損益に関する比率

項目	算式	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	備考
純資本利益率[%]	$\frac{\text{当年度経常利益}}{(\text{期首総資本}+\text{期末総資本})\times 1/2} \times 100$	0.79	0.40	0.39	$\frac{25,665}{(6,015,156+5,700,615)\times 1/2} \times 100 = 0.44$	投下した資本に対する利益率で、大きい方が良い。
総収支比率[%]	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	110.25	105.06	104.90	$\frac{482,897}{457,404} \times 100 = 105.57$	全体的な経営収支状態を示す比率。 100以下は赤字。
経常収支比率[%]	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	110.27	105.13	105.00	$\frac{482,897}{457,232} \times 100 = 105.61$	経常的な経営収支状態を示す比率。 100以下は赤字。
営業収支比率[%]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$	116.33	110.27	109.37	$\frac{412,871-0}{411,817-0} \times 100 = 100.26$	主要事業での経営収支状態を示すもので、大きいほど良く 100 以下ならば原価に見合った収益確保の必要がある。
利子負担率[%]	$\frac{\text{支払利息}+\text{企業債取扱諸費}}{\text{一時借入金}+\text{建設改良の財源に充てるための企業債・長期借入金}+\text{その他の企業債・長期借入金}} \times 100$	1.91	1.88	1.84	$\frac{45,415+0}{0+2,535,677} \times 100 = 1.79$	負債に対する支払利息の比率、言い換えれば平均利率。
企業債償還元金 対減価償却額 比率[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	99.11	106.64	107.32	$\frac{234,505}{212,018} \times 100 = 110.61$	企業債の発行が経営規模に比べ適正かどうかを示す指標。 100 以下が望ましい。
企業債償還元金 対給水収益比率[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$	42.30	48.28	50.97	$\frac{234,505}{409,205} \times 100 = 57.31$	企業債発行額が事業規模に適正かを判断する基準で、低いほど良い。
企業債利息 対給水収益比率[%]	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	11.95	11.45	11.13	$\frac{45,415}{409,205} \times 100 = 11.10$	企業債発行額が事業規模に適正かを判断する基準で低いほど良い。
職員給与費 対給水収益比率[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$	15.59	16.72	15.78	$\frac{71,363}{409,205} \times 100 = 17.44$	人的サービスの占める割合で、当然低い方が良い。 比率は 30%前後が適当。

(注)※ただし、2014年度に限り、期首とは会計基準の見直しに伴う移行仕訳したもの

4. その他比率

項目	算式	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	備考
有収率[%]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	69.25	68.17	68.01	$\frac{2,458,713}{3,465,842} \times 100 = 70.94$	総配水量のうち、料金収入となった水量の割合。 高率ほど良い。
負荷率[%]	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	80.22	78.62	85.80	$\frac{9,495}{11,438} \times 100 = 83.01$	施設が年間を通じて有効に使用されているかどうかを見る指標で、比率は大きいほど良い。
施設利用率[%]	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	60.26	58.93	63.07	$\frac{9,495}{15,658} \times 100 = 60.64$	施設が年間を通じて有効かつ適切に使用されているかどうかを見る指標で、比率は大きいほど良い。
最大稼働率[%]	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	75.12	74.96	73.51	$\frac{11,438}{15,658} \times 100 = 73.05$	100%以上の時は配水能力が最大配水量に不足し、100%を大きく下回る場合は最大給水施設を有していることを示す。
配水管使用効率 [m ³ /m]	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{配水管総延長}}$	19.31	18.88	18.19	$\frac{3,465,842}{198,746} = 17.44$	導送配水管 1 m当たりの配水量を見て、その効率を測る。 量が多いほど使用効率が良い。
給水原価[円/m ³]	$\frac{\text{総費用}-\text{受託工事費}-\text{材料売却原価}-\text{不用品売却原価}-\text{特別損失}-\text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$	173.83	181.46	180.80	$\frac{457,403,657 - 0 - 330,760 - 0 - 171,654 - 17,830,581}{2,458,713} = 178.58$	1 m ³ あたりの生産原価
供給単価[円/m ³]	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	183.22	183.23	182.02	$\frac{409,205,172}{2,458,713} = 166.43$	1 m ³ あたりの販売単価
職員一人当り 給水人口[人]	$\frac{\text{給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$	1,815	1,469	1,934	$\frac{17,041}{9} = 1,893$	職員数を他の事業体と単純に比較するのは難しいので、1人当たりの生産性により比較する。 数字は大きいほど生産性が高い。
職員一人当り 給水量[m ³]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	267,702	257,775	273,143	$\frac{2,458,713}{9} = 273,190$	
職員一人当り 営業収益[千円]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	49,414	47,597	50,133	$\frac{412,871 - 0}{9} = 45,875$	
職員一人当り 有形固定資産 [千円]	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{損益勘定職員数} + \text{資本勘定職員数}}$	538,280	422,909	565,169	$\frac{4,948,101}{9 + 0} = 549,789$	

5. 経営指標一覧表

(1)事業の概況

項目	算式	R01 年度			R02 年度
		全国平均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市	
普及率[%] (対行政区域内人口)	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{行政区域内現在人口}} \times 100$	87.47	86.85	99.93	99.93
普及率[%] (対計画給水人口)	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{計画給水人口}} \times 100$	91.14	84.66	64.72	63.35
平均有収水量[l]	$\frac{\text{1日平均有収水量}}{\text{現在給水人口}}$	306	326	386	395
有収水量の用途別内訳[%] (家庭用)	$\frac{\text{1日平均有収水量}(\phi 25 \text{以下})}{\text{1日平均有収水量(合計)}} \times 100$	78.90	75.05	80.16	80.12
有収水量の用途別内訳[%] (工場用)	$\frac{\text{1日平均有収水量(電力)}}{\text{1日平均有収水量(合計)}} \times 100$	6.29	8.16	0.92	1.31
有収水量の用途別内訳[%] (その他)	$\frac{\text{1日平均有収水量(その他)}}{\text{1日平均有収水量(合計)}} \times 100$	14.81	16.79	18.92	18.57

(2)収益性に関する項目

項目	算式	R01 年度			R02 年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
総収支比率[%]	$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}} \times 100$	111.81	111.34	104.90	105.57	収益性をみる際の最も代表的な指標。
経常収支比率[%]	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$	112.06	111.99	105.00	105.61	
営業収支比率[%]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	100.72	99.30	109.37	100.26	収益性を見るための指標。比率が高いほど利益率がよい。
自己資本回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本})/2}$	0.114	0.108	0.172	0.156	自己資本に対する営業収益の割合。比率が高いほど投下資本に比して営業活動が活発。
総資本回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首負債資本合計} + \text{期末負債資本合計})/2}$	0.077	0.072	0.076	0.070	総資本に対する営業収益の割合
固定資産回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産})/2}$	0.086	0.080	0.087	0.082	固定資産に対する営業収益の割合。高いほど施設が有効に稼働している。
未収金回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金})/2}$	6.276	6.584	44.27	37.30	未収金の回収速度を示す指標。高い程よい。
総資本利益率[%]	$\frac{\text{経 常 利 益} - \text{経 常 損 失}}{(\text{期首負債資本合計} + \text{期末負債資本合計})/2} \times 100$	0.99	0.94	0.39	0.44	総資本の収益性を表す指標。高い程総合的な収益性が高い。

※ 自己資本＝自己資本金＋剰余金 (注)ただし、2014年度に限り期首とは会計基準の見直しに伴う移行仕訳をしたもの

(3)資産の状態に関する項目

項目	算式	R01 年度			R02 年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
企業債償還元金 対減価償却費比率 [%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{減価償却費}} \times 100$	79.94	84.39	107.32	110.61	投下資本の 回収と再投 資とのバラ ンスを見る 指標。
有形固定資産 減価償却率[%]	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産帳簿原価}} \times 100$	48.23	49.74	49.11	50.72	償却資産に おける減価 償却済の割 合を示す比 率。
当年度減価償却率 [%]	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産} + \text{無形固定資産} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$	4.19	4.31	4.71	4.86	償却対象固 定資産に対 する平均償 却率である。

項目	算式	R01 年度			R02 年度	備 考
		全 平	国 均	全 国 同 規 模		
有収水量 1 ㎡当たり						
有形固定資産[円]	$\frac{\text{有 形 固 定 資 産}}{\text{年 間 総 有 収 水 量}}$	1814. 43	1, 869. 54	2, 069. 14	2, 012. 48	
無形固定資産[円]	$\frac{\text{無 形 固 定 資 産}}{\text{年 間 総 有 収 水 量}}$	17. 40	29. 71	6. 62	4. 51	
資産合計[円]	$\frac{\text{資 産 合 計}}{\text{年 間 総 有 収 水 量}}$	2, 106. 63	2, 235. 30	2, 383. 33	2, 318. 54	
負債合計[円]	$\frac{\text{負 債 合 計}}{\text{年 間 総 有 収 水 量}}$	1, 126. 68	1, 208. 19	1, 314. 39	1, 239. 42	
資本合計[円]	$\frac{\text{資 本 合 計}}{\text{年 間 総 有 収 水 量}}$	979. 94	1, 027. 11	1, 068. 94	1, 079. 12	
資本金[円]	$\frac{\text{資 本 金}}{\text{年 間 総 有 収 水 量}}$	760. 25	754. 28	795. 31	808. 98	
利益剰余金[円]	$\frac{\text{利 益 剰 余 金}}{\text{年 間 総 有 収 水 量}}$	165. 81	216. 10	254. 58	251. 09	
資本剰余金[円]	$\frac{\text{資 本 剰 余 金}}{\text{年 間 総 有 収 水 量}}$	53. 80	56. 73	19. 05	19. 04	
企業債現在高[円]	$\frac{\text{企 業 債}}{\text{年 間 総 有 収 水 量}}$	630. 74	688. 83	1, 103. 16	1, 031. 30	

(4)財務比率に関する項目

項目	算式	R01 年度			R02 年度	備考
		全 平	国 均	全 国 同 規 模 尾 鷲 市		
流動比率[%]	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	317.68	363.15	259.22	245.34	短期債務に対する支払い能力を表している。100%以上であることが必要。
当座比率[%]	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	307.39	356.54	258.84	244.86	短期債務に対する支払能力を表す比率。
流動資産回転率	$\frac{\text{営 業 収 益} - \text{受 託 工 事 収 益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) / 2}$	0.622	0.496	0.593	0.551	流動資産の経営活動における回転度を表す。
自己資本 構成比率[%]	$\frac{\text{自 己 資 本 金} + \text{剰 余 金}}{\text{負 債 資 本 合 計}} \times 100$	67.45	66.98	44.85	46.54	総資本に占める自己資本の割合。高いほど経営の安全性が高い。
固定資産 構成比率[%]	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{固 定 資 産} + \text{流 動 資 産} + \text{繰 延 勘 定}} \times 100$	87.64	85.37	87.10	87.00	資産合計中の固定資産の割合を表す。低い方が柔軟な経営が可能となる。
固定資産 対長期資本比率 [%]	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{固 定 負 債} + \text{資 本 金} + \text{剰 余 金}} \times 100$	91.18	88.96	97.90	98.09	事業の固定的・長期的安全性をみる指標。
固定比率[%]	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自 己 資 本 金} + \text{剰 余 金}} \times 100$	129.93	127.46	194.19	186.91	自己資本がどの程度固定資産に投下されているかをみる指標。
固定負債 構成比率[%]	$\frac{\text{固定負債} + \text{流動負債(建設改良の財源に充てるための企 業 債)}}{\text{負 債 資 本 合 計}} \times 100$	29.66	28.99	48.11	46.36	他人資本依存度を示す指標。

(5)施設の効率性に関する項目

項目	算式	R01 年度			R02 年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
施設利用率[%]	$\frac{1 \text{ 日平均配水量}}{1 \text{ 日配水能力}} \times 100$	60.07	55.39	63.07	60.64	施設の利用状況を総合的に判断する為の指標。
最大稼働率[%]	$\frac{1 \text{ 日最大配水量}}{1 \text{ 日配水能力}} \times 100$	69.98	69.01	73.51	73.05	1 日配水能力に対する 1 日最大配水量。
負荷率[%]	$\frac{1 \text{ 日平均配水量}}{1 \text{ 日最大配水量}} \times 100$	85.84	80.26	85.80	83.01	施設が有効に使用されているかどうかをみる指標。 高いほど良い。
有収率[%]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	83.89	79.68	68.01	70.94	施設の稼働状況がそのまま収益につながっているかについての比率。
固定資産使用効率 [m ³ /万円]	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}}$	6.57	6.71	7.11	7.00	有形固定資産に対する年間総配水量の割合。 高いほど施設が効率的である。
配水管 100m 当たり 給水人口[人]	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{配水管延長}}$	12	9	8.76	8.57	施設の有効性を示す指標。
配水管使用効率[m ³ /m]	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	14.52	11.96	18.19	17.44	施設の効率性を示す指標。

(6)生産性に関する項目

項目	算式	R01 年度			R02 年度	備考
		全 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
職員 1 人あたり						
給水人口[人]	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$	3,857	3,160	1,934	1,893	職員 1 人あたりの生産性について把握するための指標。 大きいほど良い。
有収水量[m³]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	431,471	377,180	273,143	273,190	
営業収益[千円]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	69,431	60,304	50,133	45,875	
給水収益[千円]	$\frac{\text{給水収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	67,157	58,659	49,717	45,467	
職員給与費 対営業収益比率[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$	11.00	12.00	15.65	17.28	営業収益に対する職員給与費の割合。
有収水量 1 万 m³/1 日 当たり 損益勘定職員数[人]	$\frac{\text{損益勘定職員数}}{\text{有収水量（1 万 m³/日）}}$	8	10	14.85	14.85	適正な職員数と配置がされているかどうかを把握するための指標。

(7)料金に関する項目

項目	算式	R01 年度			R02 年度	備考
		全 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
給水原価[円]	$\frac{\text{経常費用}-\text{受託工事費}-\text{付帯工事費}-\text{材料売却原価}-\text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$	151.24	150.74	180.80	178.58	1 m³あたりの生産原価
供給単価[円]	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	155.65	155.52	182.02	166.43	1 m³あたりの販売単価
料金回収率[%]	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$	102.91	103.17	100.67	93.20	100%を下回る場合、給水に係る費用が水道料金以外で賄われていることを示す。
1 ヶ月 10 m³当 たり 家庭用 料金 [円]		1,468	1,432	1,210	1,210	消費税率 10% 込
1 ヶ月 20 m³当 たり 家庭用 料金 [円]		3,024	2,958	3,080	3,080	消費税率 10% 込

(8)費用に関する項目

項目	算式	R01 年度			R02 年度	備考
		全 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
費用構成比						
職員給与費[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{費用合計}} \times 100$	10.34	11.07	15.27	15.61	
支払利息[%]	$\frac{\text{支払利息}}{\text{費用合計}} \times 100$	6.35	6.90	10.77	9.94	
減価償却費[%]	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{費用合計}} \times 100$	44.14	47.18	45.96	46.37	
動力費[%]	$\frac{\text{動力費}}{\text{費用合計}} \times 100$	6.33	7.93	7.74	7.07	
光熱水費[%]	$\frac{\text{光熱水費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.21	0.18	0.14	0.12	
通信運搬費[%]	$\frac{\text{通信運搬費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.63	0.72	1.08	1.05	
修繕費[%]	$\frac{\text{修繕費}}{\text{費用合計}} \times 100$	5.32	5.67	4.04	4.83	
材料費[%]	$\frac{\text{材料費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.33	0.37	1.17	1.34	
薬品費[%]	$\frac{\text{薬品費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.51	0.47	0.50	0.47	
路面復旧費[%]	$\frac{\text{路面復旧費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.29	0.12	0.16	0.38	
委託料[%]	$\frac{\text{委託料}}{\text{費用合計}} \times 100$	11.45	9.49	10.03	10.25	
受水費[%]	$\frac{\text{受水費}}{\text{費用合計}} \times 100$	8.16	3.97	0.00	0.00	
その他[%]	$\frac{\text{その他}}{\text{費用合計}} \times 100$	5.47	5.53	3.14	2.57	

項目		算式	R01 年度			R02 年度	備考
			全 平	国 均	全 国 同 規 模 尾 鷲 市		
給水収益中							
職員給与与費[%]	$\frac{\text{職員給与与費}}{\text{給 水 収 益}} \times 100$	11.37	12.34	15.78	17.44	給水収益と比較した場合の 各費用の比率 を示した指標。	
企業債利息[%]	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給 水 収 益}} \times 100$	6.98	7.69	11.13	11.10		
減価償却費[%]	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{給 水 収 益}} \times 100$	48.53	52.58	44.49	51.81		
企業債償還元金[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給 水 収 益}} \times 100$	28.58	32.11	50.97	57.31		

項目	算式	R01 年度			R02 年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
有収水量 1 m ³ 当たり						
職員給与費[円]	$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{年間総有収水量}}$	17.70	19.18	28.72	29.02	
基本給[円]	$\frac{\text{基 本 給}}{\text{年間総有収水量}}$	8.99	9.90	14.78	15.17	
手当[円]	$\frac{\text{手 当}}{\text{年間総有収水量}}$	4.63	5.09	8.28	8.84	
賃金[円]	$\frac{\text{賃 金}}{\text{年間総有収水量}}$	0.36	0.43	0.00	0.00	
退職給付費[円]	$\frac{\text{退 職 給 付 費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.68	0.38	0.98	0.00	
法定福利費[円]	$\frac{\text{法 定 福 利 費}}{\text{年間総有収水量}}$	3.04	3.38	4.72	5.01	
支払利息[円]	$\frac{\text{支 払 利 息}}{\text{年間総有収水量}}$	10.87	11.95	20.26	18.47	
減価償却費[円]	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{年間総有収水量}}$	75.53	81.77	86.44	86.23	
動力費[円]	$\frac{\text{動 力 費}}{\text{年間総有収水量}}$	10.83	13.74	14.56	13.16	
光熱水費[円]	$\frac{\text{光 熱 水 費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.36	0.31	0.25	0.23	
通信運搬費[円]	$\frac{\text{通 信 運 搬 費}}{\text{年間総有収水量}}$	1.08	1.25	2.03	1.95	
修繕費[円]	$\frac{\text{修 繕 費}}{\text{年間総有収水量}}$	9.10	9.82	7.60	8.98	
材料費[円]	$\frac{\text{材 料 費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.57	0.65	2.21	2.49	
薬品費[円]	$\frac{\text{薬 品 費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.86	0.82	0.93	0.88	
路面復旧費[円]	$\frac{\text{路 面 復 旧 費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.49	0.20	0.30	0.70	
委託料[円]	$\frac{\text{委 託 料}}{\text{年間総有収水量}}$	19.60	16.46	18.86	19.06	
受水費[円]	$\frac{\text{受 水 費}}{\text{年間総有収水量}}$	13.97	6.88	0.00	0.00	
その他[円]	$\frac{\text{そ の 他}}{\text{年間総有収水量}}$	9.36	9.59	5.91	4.78	
費用合計[円]	$\frac{\text{費 用 合 計}}{\text{年間総有収水量}}$	171.14	173.33	197.60	197.57	
資本費[円]	$\frac{\text{企業債利息}+\text{減価償却費}}{\text{年 間 総 有 収 水 量}}$	73.49	74.80	106.70	104.70	
利子負担率[%]	$\frac{\text{支 払 利 息}}{\text{企業債}+\text{一時借入金}+\text{建設改良の財源に充てるための企業債}}$	1.72	1.73	0.02	0.02	外部利子の平均利率を示す。

(9)繰入金の状況に関する項目

項目	算式	R01 年度			R02 年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
繰入金比率[%] (収益的収入分)	$\frac{\text{繰入金 (収益的収入分)}}{\text{総 収 益}} \times 100$	4.21	4.55	3.19	10.86	収入における繰入金依存度を分析する比率。
繰入金比率[%] (資本的収入分)	$\frac{\text{繰入金 (資本的収入分)}}{\text{資 本 的 収 入 計}} \times 100$	17.43	21.17	4.46	5.35	

VI. 施設概要

1. 水源施設数

(1)水源施設（送水・消毒設備 11 箇所）

矢ノ浜・須賀利・九鬼・早田・三木浦第1・三木浦第2・三木里・賀田第1(北)・賀田第1(南)・曾根・梶賀

(2)取水施設

取水施設名			水源名	箇所数
上水道	矢ノ浜		地下水(浅層井戸) 1号井・5号井・6号井	3
			矢ノ川伏流水 1号井・2号井	2
簡易水道	須賀利		地下水(浅井戸) 1号井・2号井	2
	九鬼		滝ノ頭川表流水	1
	早田		大川表流水	1
	三木浦	第1	三木谷川表流水	1
		第2	浦越川表流水	1
	三木里		八十川伏流水 1号井	1
	賀田第1	北	地下水(浅井戸) 1号井	1
		南	地下水(浅井戸) 1号井	1
	曾根		逢神川表流水	1
	梶賀		梶賀川表流水	1
合計				16

2. 各施設ポンプ能力(50台)

区分	施設名	用途	口径φ (mm)	毎分流量 (m³)	24時間流量 1日最大(m³)	全揚程 (m)	出力 (kW)	台数 (台)
上水道	矢ノ浜浄水場	送水	250	7.00	10,080	79.0	132.0	2
		配水	200	5.60	8,064	59.0	90.0	3
		取水	100	2.78	4,003	22.0	18.5	2
		取水	200	4.17	6,004	20.0	30.0	2
		取水	80	0.50	720	20.0	5.5	1
		取水	100	1.60	2,304	25.0	11.0	1
		取水	80	0.50	720	26.0	5.5	1
		ろ過	200	5.00	7,200	18.0	30.0	1
	馬越 送水ポンプ場	送水	80	0.40	576	112.0	18.5	2
	泉台 加圧ポンプ場	配水	100	0.80	1,152	67.0	18.5	2
	光ヶ丘 送水ポンプ場	送水	100	1.10	1,584	55.0	18.5	2
簡易水道	須賀利浄水場	配水	65	0.80	1,152	72.0	15.0	2
		取水	50	0.38	540	15.0	1.5	4
	三木浦第1 浄水場	送水	80	1.10	1,584	47.0	15.0	2
	三木浦第2 浄水場	送水	50	0.32	454	72.0	7.5	2
		逆洗	100	1.10	1,584	19.5	5.5	2
	三木里浄水場	送水	100	0.92	1,325	75.0	22.0	2
		取水	80	0.50	720	10.0	5.5	2
	賀田第1(北) 浄水場	送水	100	1.00	1,440	60.0	18.5	2
	賀田第1(南) 浄水場	送水	80	0.50	720	87.0	15.0	2
		取水	80	0.7	1,008	13.0	5.5	2
		逆洗	150	2.70	3,888	17.0	11.0	2
	賀田第2 加圧ポンプ場	配水	100	0.97	1,397	60.0	18.5	2
	古江加圧 ポンプ場	配水	80	0.70	1,008	63.0	15.0	2
	曽根 加圧ポンプ場	配水	40	0.22	317	—	2.2	1

3. 電力使用量【矢ノ浜浄水場：年度別】[単位:kWh]

年度 月	H27	H28	H29	H30	R01	R02
4 月	136, 595	140, 908	141, 038	134, 648	128, 797	124, 699
5 月	136, 834	142, 153	131, 966	130, 565	134, 559	205, 965
6 月	141, 666	131, 278	135, 469	132, 250	136, 927	134, 821
7 月	143, 658	138, 509	139, 296	141, 487	133, 538	130, 750
8 月	159, 969	149, 760	142, 459	151, 819	146, 038	138, 813
9 月	154, 277	147, 556	140, 801	150, 215	134, 990	140, 597
10 月	135, 484	141, 375	140, 812	141, 962	129, 195	125, 916
11 月	139, 663	133, 730	141, 326	130, 202	135, 714	127, 447
12 月	138, 581	152, 097	142, 573	125, 992	126, 565	120, 112
1 月	146, 888	167, 182	153, 395	136, 089	134, 886	129, 638
2 月	142, 048	138, 205	149, 615	133, 798	126, 458	124, 927
3 月	128, 962	129, 675	130, 580	125, 066	115, 591	112, 598
合計	1, 704, 625	1, 712, 428	1, 689, 330	1, 634, 093	1, 583, 258	1, 616, 283

4. 配水池・ポンプ井貯水能力一覧表

区分	施設名	名称	容量[m ³]
上水道	矢ノ浜浄水場	配水池 1 号	3,322
		配水池 2 号	2,512
	桂山配水池	配水池	5,750
	泉台加圧ポンプ場	ポンプ井	140
	光ヶ丘送水ポンプ場	ポンプ井	58
	光ヶ丘配水池	配水池	1,000
	馬越送水ポンプ場	ポンプ井	122
	馬越配水池	配水池	107
	向井加圧ポンプ場	ポンプ井	102
簡易水道	須賀利浄水場	ポンプ井	303
	九鬼浄水場	配水池	279
	早田浄水場	配水池	64
	三木浦第 1 浄水場	ポンプ井	82
	三木浦第 2 浄水場	ポンプ井	82
	三木浦配水池	配水池	450
	三木里浄水場	ポンプ井	104
	三木里配水池	配水池	375
	賀田配水池	配水池	246
	賀田第 1(南)浄水場	ポンプ井	65
	賀田第 2 加圧ポンプ場	ポンプ井	350
	古江加圧ポンプ場	ポンプ井	216
	曾根浄水場	配水池	100
	梶賀浄水場	配水池	39

5. 施設所在地

施設名	所在地
矢ノ浜浄水場	尾鷲市矢浜四丁目 4 番 8 号
桂山配水池	尾鷲市大字南浦矢ノ浜上ノ山 1917-32
馬越送水ポンプ場	尾鷲市北浦西町 1508
馬越配水池	尾鷲市馬越町 3838
泉加圧ポンプ場	尾鷲市古戸野町 4-18
光ヶ丘送水ポンプ場	尾鷲市光ヶ丘 13-31
光ヶ丘配水池	尾鷲市大字南浦 1836-2
向井加圧ポンプ場	尾鷲市大字向井 195-4、195-5
須賀利浄水場	尾鷲市須賀利町 505-1
九鬼浄水場	尾鷲市九鬼町 305
早田浄水場	尾鷲市早田町 252-1
三木浦第 1 浄水場	尾鷲市三木浦町 53
三木浦第 2 浄水場	尾鷲市早田町 351-6
三木浦配水池	尾鷲市三木浦町 303-20
三木里浄水場	尾鷲市三木里町 1123
三木里配水池	尾鷲市三木里町 902-3
賀田第 1(北)浄水場	尾鷲市賀田町 972-180
賀田第 1(南)浄水場	尾鷲市賀田町 970-3
賀田第 2 加圧ポンプ場	尾鷲市賀田町 318-36
古江加圧ポンプ場	尾鷲市古江町 670-21
賀田配水池	尾鷲市賀田町 1008-2
曾根浄水場	尾鷲市曾根町 376-3
曾根加圧ポンプ場	尾鷲市曾根町 520-2
梶賀浄水場	尾鷲市梶賀町寺ノ上 149

Ⅶ. 設 備

1. 上水道

(1) 矢ノ浜浄水場

【No.1】

公 称 能 力	14,500 m ³ /日 (認可値)		
経 歴	1966 年 (昭和 41 年) 竣工 2007 年度 (平成 19 年度) 新矢ノ浜浄水場築造		
配 水 池	1 号配水池 PC 造り (鉄筋コンクリート造) 内径 φ 23.0m × 有効 8.0m Ve=3,322 m ³		1 池
	2 号配水池 PC 造り (鉄筋コンクリート造) 内径 φ 20.0m × 有効 8.0m Ve=2,512 m ³		1 池
送 水 ポ ン プ	送水ポンプ 両吸込渦巻ポンプ (内予備 1 台) φ 250mm × φ 150mm × 7.0 m ³ /min × 79m × 132kw		2 台
	配水ポンプ 両吸込渦巻ポンプ (内予備 2 台) φ 200mm × φ 150mm × 5.6 m ³ /min × 59m × 90kw		3 台
取 水 ポ ン プ	伏流水 1 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 100mm × 2.78 m ³ /min × 22m × 18.5kw		2 台
	伏流水 2 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 200mm × 4.17 m ³ /min × 20m × 30kw		2 台
	浅層地下水 1 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 80mm × 0.5 m ³ /min × 20m × 5.5kw		1 台
	浅層地下水 5 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 100mm × 1.6 m ³ /min × 25m × 11kw		1 台
	浅層地下水 6 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 80mm × 0.5 m ³ /min × 26m × 5.5kw		1 台
ろ 過 ポ ン プ	ろ過機水中ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 200mm × 5.0 m ³ /min × 18m × 30kw		1 台
消 毒 設 備	薬 注 ポ ン プ	定量比例注入ポンプ 1・2 号 30ml/min 1.0MPa	2 台
		定量比例注入ポンプ 3 号 (内予備 1 台) 60ml/min 1.0MPa	2 台
		定量比例注入ポンプ 4 号 (内予備 1 台) 60ml/min 1.0MPa	2 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 φ 1.3m H=1.62m 素材 ポリエチレン Ve=1.5 m ³		2 台

【No.2】

ポンプ井 (着水井)	伏流水1号井 楕円形 RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内径 $\phi 8.0\text{m} \times \text{H}9.0\text{m}$		1井
	伏流水2号井 長方形 RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 $\text{W}6.0\text{m} \times \text{L}12.5\text{m} \times \text{H}7.0\text{m}$		1井
	浅層地下水1号井 SP $\phi 600\text{mm} \times \text{H}15\text{m}$		1井
	浅層地下水5号井 SP $\phi 400\text{mm} \times \text{H}15\text{m}$		1井
	浅層地下水6号井 SP $\phi 600\text{mm} \times \text{H}15\text{m}$		1井
集水管	集水埋管伏流水1号 有孔 HP $\phi 700\text{mm} \sim \text{L}=150\text{m}$		1式
	集水埋管伏流水2号 有孔 HP $\phi 1,500\text{mm} \sim \text{L}=243\text{m}$		1式
ポンプ井 (ろ過)	ろ過ポンプ井 RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 $\text{W}4.0\text{m} \times \text{L}5.0\text{m} \times \text{深さ } 4.0\text{m}$		1井
契約電力	高压電力 B 515A・kw 力率 97%		
受変電設備	高压変圧器 6.6kv/420 500kVA		2台
ろ過器	ろ過器 急速ろ過器 動式密閉型 1池当り4分割 ろ過速度 120m/日		1台
電気計装設備	流量計	1号井取水流量計 $\phi 300\text{mm}$ 0~450 m^3/h 水中型電磁式	1台
		5・6号井取水流量計 $\phi 300\text{mm}$ 0~450 m^3/h 水中型電磁式	1台
		伏流水1号井取水流量計 $\phi 400\text{mm}$ 0~1,000 m^3/h 超音波式	1台
		伏流水2号井取水流量計 $\phi 500\text{mm}$ 0~1,000 m^3/h 水中型超音波式	1台
		送水流量計 $\phi 250\text{mm}$ 0~800 m^3/h 電磁式	1台
		配水流量計 $\phi 300\text{mm}$ 0~800 m^3/h 電磁式	1台
	水位計	投込式	
		0~10m 配水池用	2台
		浅井戸用	4台
	自動通報装置付中央監視装置		1台
	テレメーター親局		1式
自家発電設備	ガスタービン式発電機 発電機 3 ϕ 3w 500kVA 6600V 4極 ガスタービン 単純開放サークル1軸式 441kw		1台
	燃料タンク A 重油1種1号 1,500 ℓ		1台
	地下タンク A 重油1種1号 7,000 ℓ		1台

(2)桂山配水池

公 称 能 力	5,750 m ³ (貯水量)	
経 歴	1966 年 (昭和 41 年) 竣工 2004 年度 (平成 16 年度) 送水ポンプ取替 2007 年度 (平成 19 年度) 緊急遮断弁設置 2013 年度 (平成 25 年度) 桂山配水池築造	
配 水 池	配水池 ステンレス製角型 内法 W23.0m×L25.5m×有効 10.58m=約 2,875 m ³ Ve=2,875 m ³ ×2 池=5,750 m ³	2 池
契 約 電 力	従量電灯 B 60A・kw	
電 気 設 備	水位計 投入式液面発信器 0~10m	2 台
	無停電電源装置	1 台
	直流電源装置	1 台
	緊急遮断弁 マークリング型緊急遮断弁ウェイト式 油圧分離型 [震度・流量併用感知方式] 内面エポキシ樹脂粉体塗装 φ 300 バタフライ式 弁箱肉厚 13mm φ 150 バタフライ式 弁箱肉厚 15mm	1 台 1 台
	地震監視装置 (地震ウォッチャー) 型式: SW-74	1 台
	テレメーターSAS55 子局	1 台

(3)馬越送水ポンプ場

公 称 能 力	576 m ³ /日 (最大流量)	
経 歴	2000 年度 (平成 12 年度) 送水・配水池機械電気設備	
ポ ン プ 室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 $A=W4.15m \times L4.0m=16.6 \text{ m}^2$	1 室
送 水 ポ ン プ	多段渦巻ポンプ (フライホイールカップリング付) $\phi 80 \times 0.4 \text{ m}^3/\text{min} \times 112m \times 18.5kw \text{ } 1,800rpm$ (内予備 1 台)	2 台
ポ ン プ 井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 $W4.0m \times L5.0m \times \text{有効 } 3.5m \text{ } Ve=70 \text{ m}^3$ 内法 $W3.0m \times L5.0m \times \text{有効 } 3.5m \text{ } Ve=52.5 \text{ m}^3$	1 池 1 池
契 約 電 力	低圧電力 26A・kw 力率 90% 従量電灯 B 15A・kw	
電 気 設 備	水位指示警報計 配水池水位計 0~3m DC1~5v	1 台
	積算カウンター 配水池流量 8 桁	1 台
	2 点記録計 水位・配水量	1 台
	自動通報装置	1 台
	直流電源装置	1 台
消 毒 設 備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 14.5ml/min 1.0MPa ストローク数 23s.p.m	1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン $\phi 500mm$ H=770mm $Ve=100\ell$	1 台
自 家 発 電 設 備	ディーゼルエンジン 4 サイクル水冷式	1 台
	燃料タンク 300	1 台

(4)馬越配水池

公 称 能 力	107 m ³ (貯水量)	
経 歴	2000 年度 (平成 12 年度) 馬越配水池改良	
配 水 池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 $W6.2 \times L3.5 \times \text{有効 } 3.0=65.1 \text{ m}^3$ 内法 $W6.2 \times L3.5 \times \text{有効 } 1.9=42.23 \text{ m}^3$ $Ve=65.1 \text{ m}^3+42.23 \text{ m}^3=107.3 \text{ m}^3$	1 池 1 池

(5) 泉台加圧ポンプ場

公 称 能 力	1,152 m ³ /日 (最大流量)		
経 歴	1975 年度 (昭和 50 年度) 竣工 2018 年度 (平成 30 年度) 1 号加圧ポンプ取替		
ポ ン プ 室	RC 造り (鉄筋コンクリート造) 面積 A=W10.6m×L8.6m=90 m ²		1 室
加 圧 ポ ン プ	多段渦巻ポンプ (フライホイール付) φ 100×0.8 m ³ /min×67m×18.5kw 1,800rpm (内予備 1 台)		2 台
ポ ン プ 井	RC 造り (鉄筋コンクリート造) 内法 W10.6m×L8.6m×有効 1.5m Ve=140 m ³		1 池
契 約 電 力	低圧電力 22A・kw 力率 90% 従量電灯 B 15A・kw		
電 気 設 備	コンプレッサー		1 台
	加圧タンク 圧力水槽 (横円筒型) φ 2.6m×L5.18m Ve=30.8 m ³ 最高使用圧力 6kg/c m ² 銅板 16mm 鏡板 22mm		1 台
	水位計	フロート液面発信機 (FNF 型)	1 台
		デジタル指示警報計 0~5m	1 台
	配水圧力 デジタル指示警報計 0~10kg/c m ²		1 台
	直流電源装置		1 台
エ ン ジ ン	ディーゼルエンジン 4 サイクル水冷式		1 台
	燃料タンク 35ℓ		1 台

(6)光ヶ丘送水ポンプ場

公 称 能 力	1,584 m ³ /日 (最大流量)	
経 歴	1985 年度 (昭和 60 年度) 電気・計装改築 2006 年度 (平成 18 年度) 送水ポンプ取替(防振架台)	
ポ ン プ 室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 $A=W5.1m \times L5.7m=29 \text{ m}^2$	1 室
送 水 ポ ン プ	多段渦巻ポンプ(防振架台) $\phi 100 \times 1.1 \text{ m}^3/\text{min} \times 55m \times 18.5kw \quad 1,735\text{rpm}$ (内予備 1 台)	2 台
ポ ン プ 井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 $W5.7m \times L5.1m \times$ 有効 2.0m $Ve=58.1 \text{ m}^3$	1 池
契 約 電 力	低圧電力 21A・kw 力率 90% 従量電灯 B 20A・kw	
電 気 設 備	配水流量計	1 台
消 毒 設 備	薬注ポンプ 薬液定量ポンプ 34cc/min 15MPa ストローク長 3m/m	2 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン $\phi 500\text{mm}$ H=770mm $Ve=100\ell$	2 台

(7)光ヶ丘配水池

公 称 能 力	1,000 m ³ (貯水量)	
経 歴	1986 年 (昭和 61 年) 竣工 2005 年度 (平成 17 年度) 緊急遮断弁オーバーホール	
配 水 池	PC 造り(鉄筋コンクリート造) 内径 $\phi 16.0m \times$ 有効 5.0m $Ve=1,000 \text{ m}^3$	1 池
契 約 電 力	従量電灯 B 15A・kw	
電 気 設 備	緊急遮断弁 マークリング型緊急遮断弁(分離型) 震度感知方式 口径 $\phi 200\text{mm}$ バタフライ形式 面間 300mm 弁箱の肉厚 13mm 右回し開き 使用最高圧力 0.45MPa	1 台
	水位計	1 台

(8)向井加圧ポンプ場

公 称 能 力	720 m ³ /日 (最大流量)		
経 歴	1976 年度 (昭和 51 年度) 竣工 2005 年度 (平成 17 年度) 電気制御盤更新 2017 年度 (平成 29 年度) 加圧ポンプ他取替		
ポ ン プ 室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W4.55m×L7.45m=34 m ²		1 室
加 圧 ポ ン プ	多段渦巻ポンプ φ 80×0.5 m ³ /min×65m×11kw 1,800rpm (内予備 1 台)		2 台
ポ ン プ 井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.55m×L7.45m×有効 3.0m Ve=102 m ³		1 池
契 約 電 力	低圧電力 14A・kw 力率 80% 従量電灯 B 20A・kw		
電 気 設 備	コンプレッサー 1.5kw オイルフリー		1 台
	加圧タンク 圧力水槽(横円筒型) φ 1.9m×L4.6m Ve=14.3 m ³ 最高使用圧 5kg/c m ² 胴板 12mm 鏡板 12mm		1 台
	水 位 計	フロート液面発信器	1 台
		水位指示計 0~4m	1 台
	直流電源装置		1 台
エ ン ジ ン	ディーゼルエンジン 4 サイクル水冷式		1 台
	燃料タンク 100ℓ		1 台

2. 簡易水道

(1) 須賀利浄水場

公 称 能 力	297 m ³ /日 (認可値)		
経 歴	1981 年度 (昭和 56 年度) 竣工 2005 年度 (平成 17 年度) 電波発信型水位計更新 2020 年度 (令和元年度) 加圧ポンプ取替		
ポ ン プ 室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=48 m ²		1 室
加 圧 ポ ン プ	多段渦巻きポンプ φ 65×0.8 m ³ /min×72m×15kw 1,800rpm(内予備 1 台)		2 台
取 水 ポ ン プ	水中渦巻ポンプ φ 50×0.375 m ³ /min×15m×1.5kw 3,400rpm		4 台
ポ ン プ 井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W11.9m×L10.9m×有効 2.5m Ve=303 m ³		1 池
取 水 井	RC 造り (鉄筋コンクリート造)	1 号井 内法 φ 3.0m×深さ 6.0m	1 井
		2 号井 内法 φ 1.2m×深さ 6.2m	1 井
契 約 電 力	低圧電力 21A・kw 力率 90% 従量電灯 B 30A・kw		
電 気 設 備	水位計 電波発信型水位計		1 台
	流量計 電磁流量計		1 台
	加圧タンク 圧力水槽(横置円筒型) 胴の最大内径 1.2m~1.6m 9.5kg/c m ² 内容積 2.15 m ³		1 台
	自動給水装置 最大 800ℓ /min 起動圧力選定範囲 5.1~6.8kg/m ²		1 台
	自動通報装置		1 台
	直流電源装置		1 台
	テレメーターSAS55 子局		1 台
消 毒 設 備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1 台
自 家 発 電 設 備	三相交流ディーゼル発電機 50KVA		1 台
	燃料タンク 200ℓ		1 台

(2) 九鬼浄水場

公 称 能 力	495 m ³ /日 (認可値)		
経 歴	1982 年度 (昭和 57 年度) 急速ろ過器設備 2007 年度 (平成 19 年度) 急速ろ過器自動逆洗化工事		
ろ 過 器	急速ろ過器 RSF 型ろ過器 4 型 20 m ³ /h		1 台
配 水 池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W13.7m×L3.4m×有効 3.0m=139.7 m ³ Ve=139.7 m ³ ×2 池=279.4 m ³		2 池
契 約 電 力	従量電灯 B 30A・kw		
電 気 設 備	自動通報装置		1 台
	テレメーターSAS15 子局		1 台
消 毒 設 備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1 台

(3)早田浄水場

公 称 能 力	81 m ³ /日 (認可値)		
経 歴	1992 年度 (平成 4 年度) 電気計装設備 2005 年度 (平成 17 年度) 水中型電磁流量計更新		
ろ 過 池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 緩速ろ過 W5.9m×L4.0m×H2.6m H2.6m 内→ろ過砂 0.8m 小砂 0.1m 中砂 0.1m 大砂 0.15m 真空有孔レガ、空洞ブロック 0.25m		2 池
沈 殿 槽	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 普通沈澱池		2 池
配 水 池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.0m×L3.5m×有効 2.3m=32.2 m ³ Ve=32.2 m ³ ×2 池=64.4 m ³		2 池
契 約 電 力	従量電灯 B 40A・kw		
電 気 設 備	配水流量計	水中型電磁流量計	1 台
		デジタル積算計	1 台
	テレメーターSAS15 子局		1 台
消 毒 設 備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1 台

(4)三木浦第1浄水場

公 称 能 力	326 m ³ /日 (認可値)		
経 歴	1981 年度 (昭和 56 年度) 竣工 2018 年度 (平成 30 年度) 送水ポンプ 2 基取替		
計 装 室 (滅 菌 室)	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=3.75m×2m=7.5 m ²		1 室
送 水 ポ ン プ	水中渦巻きポンプ φ 80×1.1 m ³ /min×47m×15kw 3,600rpm (内予備 1 台)		2 台
ポ ン プ 井	RC 造り(鉄筋コンクリート造)		1 池
契 約 電 力	低圧電力 18A・kw 力率 80% 従量電灯 B 15A・kw		
電 気 設 備	自動通報装置		1 台
	テレメーターSAS15 子局		1 台
消 毒 設 備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1 台

(5)三木浦第2浄水場

公 称 能 力	326 m ³ /日 (認可値)	
経 歴	1988 年度 (昭和 63 年度) 竣工 2007 年度 (平成 19 年度) 送水ポンプ取替 2014 年度 (平成 26 年度) 非常用発電機取替	
ポ ン プ 室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W9.0m×L5.5m=49.5 m ²	1 室
送 水 ポ ン プ	多段渦巻ポンプ φ 50×0.315 m ³ /min×72m×7.5kw 1,730rpm (内予備 1 台)	2 台
逆 洗 ポ ン プ	片吸込渦巻ポンプ φ 100×1.10 m ³ /min×19.5m×5.5kw 1,730rpm (内予備 1 台)	2 台
ポ ン プ 井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.5m×L5.5m×有効 2.3m Ve=82.2 m ³	1 池
契 約 電 力	低圧電力 16A・kw 力率 90% 従量電灯 B 50A・kw	
ろ 過 器	横型凝集沈殿装置 10 m ³ /h	2 台
電 気 設 備	SASIO テレメータテレコントロール装置 親局	1 台
	ろ過器 急速ろ過器 10 m ³ /h	2 台
	表面散乱形濁度計 W301+WA203+WLS30T	1 台
	無試薬遊離塩素計(パイプスタンド形)ZXMI	1 台
	流量計	1 台
	テレメーターSAS55 子局	1 台
消 毒 設 備	次亜塩素注入ポンプ 定量注入ポンプ	2 台
	PAC 注入ポンプ 定量注入ポンプ	2 台
	ソーダ灰注入ポンプ 定量注入ポンプ	2 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 YT-200	2 台
	PAC 貯槽 YT-200	2 台
	ソーダ灰貯槽 YT-200 攪拌機付 PG-1	2 台
自 家 発 電 設 備	三相交流ディーゼル発電機 48KVA	1 台
	燃料タンク 200ℓ	1 台

(6)三木浦配水池

公 称 能 力	450 m ³ (貯水量)		
経 歴	1980 年度 (昭和 55 年度) 竣工		
配 水 池	PC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法φ 10.9m×有効 5.2m Ve=450 m ³		1 池
契 約 電 力	従量電灯 B 15A・kw		
電 気 設 備	テレメーター・コントロール装置 SAS-10 子局		1 台
	水位計	光ファイバー式投込液面/圧力発信機	1 台
		光ファイバー式電気変換機 PSN	1 台
	流量計		

(7)三木里浄水場

公 称 能 力	643 m ³ /日 (認可値)		
経 歴	1978 年度 (昭和 53 年度) 竣工 2003 年度 (平成 15 年度) 電気計装盤更新 2006 年度 (平成 18 年度) 濁度計・残塩計・流量計取付更新 2008 年度 (平成 20 年度) 非常用発電機取替 2016 年度 (平成 28 年度) 送水ポンプ取替 2017 年度 (平成 29 年度) 取水ポンプ取替		
送 水 ポ ン プ	多段渦巻ポンプ (フライホイールカップリング付) φ100×0.92 m ³ /min×75m×22kw 1,800rpm(内予備 1 台)		2 台
取 水 ポ ン プ	水中渦巻ポンプ φ80×0.5 m ³ /min×10m×5.5kw 3,600rpm(内予備 1 台)		2 台
ポ ン プ 井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.85m×L5.85m×有効 2.6m Ve=104 m ³		1 池
契 約 電 力	低圧電力 24A・kw 力率 90% 従量電灯 B 30A・kw		
電 気 設 備	水位計	フロート液面発信機	1 台
		現地式水位計	1 台
	流量計 電磁流量計(水中形) φ150mm		1 台
	自動通報装置		1 台
	直流電源装置		1 台
	残留塩素計 ポーラログラフ法 AC100V		1 台
	濁度計 散乱光方式 AC100V		1 台
	サンプリングポンプ AC100V φ20mm		1 台
	テレメーターSAS55 子局		1 台
消 毒 設 備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1 台
自 家 発 電 設 備	三相交流ディーゼル発電機 74KVA		1 台
	燃料タンク 200ℓ		1 台

(8)三木里配水池

公 称 能 力	375 m ³ (貯水量)		
経 歴	1978 年度 (昭和 53 年度) 竣工		
配 水 池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.8×L9.2m×有効 3.0m=187.7 m ³ Ve=187.7 m ³ ×2 池=375 m ³		2 池
電 気 設 備	投込式 水位計		1 台

(9)賀田第1(北)浄水場

公 称 能 力	1,000 m ³ /日 (認可値)	
経 歴	1995 年度 (平成 7 年度) 送水ポンプ取替 2000 年度 (平成 12 年度) 電気盤更新 2018 年度 (平成 30 年度) 送水ポンプ 2 基取替	
ポ ン プ 室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W5.6m×L4.7m=26.3 m ²	1 室
送 水 ポ ン プ	多段渦巻きタービンポンプ φ100×1.0 m ³ /min×60m×18.5kw 1,800rpm (内予備 1 台)	2 台
ポンプ井(井戸)	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 φ3.0m×深さ 11.5m	1 井
契 約 電 力	低圧電力 40A・kw 力率 80% 従量電灯 B 20A・kw	
電 気 設 備	流量計 電磁式 最大流量 1,140 m ³ /h 過度流量 11.4 m ³ /h	1 台
	直流電源装置	1 台
	テレメーターSAS15 子局	1 台
消 毒 設 備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m	1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン φ500mm H=770mm Ve=100ℓ	2 台
エ ン ジ ン	ディーゼルエンジン 4 サイクル水冷直列	1 台
	燃料タンク 60ℓ	1 台
	予備タンク 90ℓ	1 台

(10)賀田第1(南)浄水場

公 称 能 力	1,000 m ³ /日 (認可値)	
経 歴	1982 年度 (昭和 57 年度) 竣工 2005 年度 (平成 17 年度) 送水ポンプ及び濁度計更新	
ポ ン プ 室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W11.5m×L5m=57.5 m ²	1 室
送 水 ポ ン プ	多段渦巻ポンプ (フライホイールカップリング付) φ80×0.5 m ³ /min×87m×15kw 1,800rpm (内予備 1 台)	2 台
逆 洗 ポ ン プ	片吸込渦巻きポンプ φ150×2.7 m ³ /min×17m×11kw (内予備 1 台)	2 台
取 水 ポ ン プ	水中渦巻きポンプ φ80×1.5 m ³ /min×13m×5.5kw (内予備 1 台)	2 台
ポ ン プ 井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.5m×L5.0m×有効 2.0m Ve=65 m ³	1 池
契 約 電 力	低圧電力 35A・kw 力率 90% 従量電灯 B 15A・kw	
ろ 過 器	小型凝集沈殿浄化装置 20 m ³ /h	2 台
電 気 設 備	濁度測定装置 表面散乱光測定方式	1 台
	自動通報装置	1 台
	濁度計	1 台
	テレメーターSAS55 子局	1 台
消 毒 設 備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m	1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ	1 台

(11)賀田第2加圧ポンプ場

公 称 能 力	1,396 m ³ /日 (最大流量)	
経 歴	1999 年度 (平成 11 年度) 加圧ポンプ取替 2005 年度 (平成 17 年度) 加圧ポンプ取替 2020 年度 (令和 2 年度) 電気計装盤取替	
ポ ン プ 室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W13.5m×L13.5m=182.3 m ²	1 室
加 圧 ポ ン プ	多段渦巻きポンプ バランスディスク形 φ100×0.97 m ³ /min×60m×18.5kw 1,800rpm (内予備 1 台)	2 台
ポ ン プ 井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W5.4m×L5.4m×有効 3.0m Ve=87.5 m ³ ×4 池=350 m ³	4 池
契 約 電 力	低圧電力 27A・kw 力率 90% 従量電灯 B 20A・kw	
電 気 設 備	加圧タンク 第二種圧力容器 φ2.7m×L6.5m Ve=37.2 m ³ 最高使用圧 7.1kg/c m ² 最低使用圧 6.0kg/c m ²	1 台
	自動通報装置	1 台
	直流電源装置	1 台
	流量計	1 台
	テレメーターSAS15 子局	1 台
エ ン ジ ン	ディーゼルエンジン	1 台
	燃料タンク 90ℓ	1 台

(12)古江加圧ポンプ場

公 称 能 力	1,008 m ³ /日 (最大流量)	
経 歴	2008 年度 (平成 20 年度) 電気計装盤取替 2020 年度 (令和元年度) 加圧ポンプ取替	
ポ ン プ 室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W13.5m×L6m=81 m ²	1 室
加 圧 ポ ン プ	多段渦巻ポンプ バランスディスク形 φ80×0.7 m ³ /min×63m×15kw 1,800rpm (内予備 1 台)	2 台
ポ ン プ 井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W12m×L6m×有効 3.0m Ve=216 m ³	1 池
契 約 電 力	低圧電力 21A・kw 力率 90% 従量電灯 B 20A・kw	
電 気 設 備	コンプレッサー 3.7kw オイルフリーベビコン 0.93MPa 850rpm 405ℓ /min	1 台
	加圧タンク 圧力容器(横円筒型) φ2.2m×L4.5m Ve=19.3 m ³ 9kg/c m ² 胴板 19mm 鏡板 19mm	1 台
	自動通報装置	1 台
	直流電源装置	1 台
	流量計	1 台
	テレメーターSAS15 子局	1 台
	投込式 水位計	1 台
エ ン ジ ン	ディーゼルエンジン 4 サイクル水冷式	1 台
	燃料タンク 90ℓ	1 台

(13)賀田配水池

公 称 能 力	247.6 m ³ (貯水量)	
経 歴	2006 年度 (平成 18 年度) 投込圧力式水位計更新 2017 年度 (平成 29 年度) 配水流量計取替	
配 水 池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W9m×L5m×有効 2.75m=123.8 m ³ Ve=123.8×2 池=247.6 m ³	2 池
電 気 設 備	水位計 投込圧力式 DC4~20mA	1 台

(14)曾根浄水場

公 称 能 力	84 m ³ /日 (認可値)	
経 歴	1954 年度 (昭和 29 年度) 竣工	
配 水 池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W7.3m×L6.0m×有効 2.3m=100.7 m ³	1 池
契 約 電 力	従量電灯 B 10A・kw(配水池施設) 低圧電力 3A・kw 力率 80%(加圧タンク施設)	
電 気 設 備	加圧タンク φ40mm 2.2kw 0.2 m ³ /min タンク容量 0.5 m ³	1 台
	加圧ポンプ φ40×0.22 m ³ /min×2.2kw ※加圧タンク及び加圧ポンプは配水池とは別の場所に設置	1 台
	流量計 φ80 (量水器)	1 台
	テレメーターSAS15 子局	1 台
消 毒 設 備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m	1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ	1 台

(15)梶賀浄水場

公 称 能 力	152 m ³ /日 (認可値)	
経 歴	1960 年度 (昭和 35 年度) 竣工	
沈 殿 槽	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W1.2m×L1.0×3.5m	1 池
配 水 池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W5.0m×L3.0m×有効 H2.6m Ve=39 m ³	1 池
契 約 電 力	従量電灯 B 15A・kw	
電 気 設 備	流量計 φ80 (量水器)	1 台
	テレメーターSAS15 子局	1 台
消 毒 設 備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m	1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ	1 台

〒519-3671

三重県尾鷲市矢浜四丁目4番8号

尾鷲市水道部

電 話：0597-23-8271

F A X：0597-23-8276

e-mail：suidou@city.owase.lg.jp